教	科		学科 加車工学	科目		材料		対象級	専門課程サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
									一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	関根	健、中村	泰史(二	級整備士	)		1	<del>.</del>		
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	6時限	授業方法	講義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕									
*三約	及整備	士試験	食合格レベ	ルに到達す	る上で、加	必要な自動	車材料の	基礎知識	を習得する。		
*自動	動車整	備作業	に関係す	る自動車の	Dリサイクル	対応の予備	莆知識の習	<sup>国</sup> 得。			
〔授業	の到達	目標)	]								
1 1	属材料	学の性:	質・種類お	よび加工タ	<b>见理方法</b>	が理解できる	5.				
② 非	金属	才料の'	性質・種類	ままび加口	L処理方法	法が理解で	きる。 				
3 J	サイクル	方法と	_必要性が	理解できる	5.						
〔学習	評価の	)基準〕	]								
試駁	点数(	D基準	を、「5・4	3.2.	1]の5段	階で表わす	0				
試駁	点数(	D評価	は 5:9	0 ~100g	点 4:7	75 ~ 89点	3:60	) ~ 74点			
6 0	点未活	黄の場	合は再試験	験を行う。向	<b>当、再試</b> 駁	倹後の評価(	は試験規	程による。			
〔使用	教科書	書・教材	(等)								
*『自	動車机	材料』	全国自動	動車整備專	<b>∮門学校</b>	劦会 *	自前プリ	ントをレジュ	メとして、別途配付。		
					授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限					授	業内容	(項目)			
	1	*総訓	<b>扁/</b> * 金属	材料の性質	質						
	1		*鉄鋼材	料 (I)							
	1		*鉄鋼材	料(Ⅱ)							
	1		* 非鉄金	:属材料							
	1		* 非金属	材料							
	1		* 総まとぬ	5							

	(科	学科	科目		図面			対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
<b>ガ</b> ∧	11-T	自動車工学	17 🗀					<b>ションルン</b>	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	中村 泰史 (二	級整備士)								
実務終	経験教員	<b>見授業</b> 非該当	総時限	4時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕									
* <u>三</u> 絲	及整備	士試験合格レベ	ルに到達す	-る上で、必	必要な図面	の基础	<b>楚知</b>	識を習得す	る。		
*整值	備士とし	て業務で用いる	マニュアル等	テの図が理	解でき、簡	単な	図が打	苗ける知識	を習得する。		
〔授業	の到達	目標〕									
① 製	製図の意	意義と重要性を理	  解し、線の	 )種類と用	法を理解す	る。					
② 各	<b>種図</b>	去表現の理解とて	大法の記入	方法を理	解する。						
③ 剖	ふい	を観察し、簡単な	図が描ける	らこと。							
〔学習	評価の	)基準〕									
評価な	むし										
「俥田	教料	<b></b>									
(1)	计人们十三	書·教材等〕									
*『製		全国自動車整備		交協会	* 自前プ	リント	をレシ	ジュメとして、 	別途配付。 *断	面サンプル	
			備専門学k		* 自前プ 業 計 画		をレシ	ジュメとして、	別途配付。 * 断面	面サンプル	No. 1
	図』		備専門学校 		業計画	表		ジュメとして、 項目)	別途配付。 * 断回	面サンプル	No. 1
*『製	標準時限			授	業計 画授	画 表 受業内	容(		別途配付。 * 断词	面サンプル	No. 1
*『製	標準時限	全国自動車整備	要性及び対	授 規格/図面	業計画授	画 表段業内	容(	項目)	別途配付。 * 断词	面サンプル	No. 1
*『製	標準時限  1  1	全国自動車整位 製図の意義と重	要性及び対/図形の表	授 規格/図面 し方/前期	業 計 画 授 で大きさ及 でないでは、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	画表 袋業内 なび様に	容( 式 、の方	項目) 法	別途配付。 * 断可	面サンプル	No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重 線、文字、尺度, 実物での確認(	要性及び /図形の表 (演習) /キ	授 現格/図面 し方/前期 ごヤの断面	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認	別途配付。 * 断回		No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重 線、文字、尺度, 実物での確認(	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1
*『製	標準時限 1 1 1	全国自動車整位 製図の意義と重線、文字、尺度, 実物での確認( その他の製図に	要性及び続 /図形の表 (演習) /ギ よる指示方	授 現格/図面 し方/前期 ギヤの断面 法/ボルト	業計画 授 iの大きさ及 i復習/寸法 形状/製品	画表 受業内 び様!	容(式の方現物)	項目) 法 での確認			No. 1

	-		<del>- 1</del>							1	
		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車工学	科目	基	礎自動車工	.学		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	加賀美 直人(二 大塚 光善(一級							<u> </u>	ļ.	
実務網	圣験教員		総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕									
* 新	入生に	対して、自動車の	D全体像を	理解させ、	その後の本	·格授	業^	の意識付	けを行う。		
*自動	動車の	専門用語、専門	単位に触れ	し、技術者	の卵としての	の意識	は付に	を行う。			
〔授業	の到達	目標〕									
1 [	自動車	の概要、基本構造	造を理解す	る。							
② 専	門用詞	吾の意味を理解す	する。								
〔学習	評価の	)基準〕									
評	価なし										
〔使用	教科書	書・教材等〕									
*『基	礎自重			 ≧備作業』							
				——— 授	業計画	〕表					No. 1
実務経験	標準時限					業内	容(	項目)			
1	1	導入/自動車の	 概要(概要	<del></del> 要)							
2	1	自動車の概要	 (エンジン本	·体 I )							
	1	自動車の構造	 (エンジン本	体Ⅱ)							
	1	自動車の機械要	- 長素/燃料及	 及び、潤滑	 剤						
	1	基礎的な原理・	法則/基礎	計算能力	」の確認						
	1	自動車の構造	(動力伝達	<u> </u>							
	1	自動車の構造	 (足回り)								
	1	自動車の構造	 (車体関係	) /自動	 車の諸元						

									±	<i>/</i>	0=101101
教科	赵	学科	科目	į	基礎整備作業	<b>学</b>		対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
<b>子</b> X1	17	自動車工学	140	4	SW正MIF5	ᡮ		V) SKINX	一級自動車整備学科・	開講期	前期
教科技	 担当	加賀美直人・福油		智忠(二	級整備士)				研究開発学科 1年		
	 経験教員	<u>春原雄一(一級 </u>    授業   非該当	<u>整備士)</u> 総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・		110. 3120	0.312	327077	P13	3~	рт іш/ 3/14			
·整備(	の基礎	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 身に付ける	. · 基礎整	 経備作業を <sup>5</sup>	里解し	、身(	 に付ける。			
·基礎:	整備化	 作業を理解し、身	 に付ける。								
•電流·	・電圧	<ul><li>・抵抗・回路等、</li></ul>		で学んだ内		0					
・サーキ	ドットテ		 を覚える。								
〔授業は	の到達	[目標]									
・整備	作業σ	)目標、職場の労	働安全、多	安全作業の	か心得、整	備工場	易から	発生する	公害を理解できる。		
・工具の	の使用	目目的、機能、正	しい使い方	を習得す	<b>వ</b> .						
・回路	図の記	号を覚える。									
・サーキ	ドットテ	スタの安全な使用	月方法を習	得する							
〔学習	評価の	)基準〕									
評価な	î L										
〔使用	教科書	書·教材等〕									
•基礎	自動車	<b>車整備作業(教</b>	科書)・Pl	J工具導力	人ネジ(授	業資料	¥)				
·DV	D (1:	かるよ!電流・電	<b>[磁石小学</b>	校の理科	↓)・基礎[	即路セ	ット	(2名で1t	<u>ヹ゚ゕ</u> ト)		
				授	業計画	表					No. 1
実務経験	標準時限				授	業内額	?)容	項目)			
	1	目的・目標/整備	幕作業の目	標/職場の	D労働安全	/安全	作業	美の心得/	整備工場から発生す	る公害	
	1	基本作業/メート	いねじ説明	月/工具チ	ェック/スパナ	/モン=	ト・レ	ンチ/めがは	Qレンチ/ソケット・レン	チ	
		ヘキサゴン・レンチ	_				' '	2 ) / Q)/) 1	•		
1 t		(1) 1/2/	F					J J J 65/13 1	,		
	1	・トルク・レンチ・ト		ンマ・プライ	ヤ・ギヤ・プ・	ーラ・タ					
	1		ドライバ・ハン			ーラ・タ					
		・トルク・レンチ・ト	ドライバ・ハン 忍テスト/エ.	具チェック/		<b>-</b> ラ・タ					
	1	・トルク・レンチ・ト工具の種類確認	ドライバ・ハンステスト/エ.滋石の復習	具チェック/		− <b>ラ・</b> タ					
	1	・トルク・レンチ・ト工具の種類確認電流と電圧・電磁	ドライバ・ハン 忍テスト/エ: 滋石の復習 て	具チェック/		− <b>5•</b> ∕					
	1 1 1	・トルク・レンチ・ト 工具の種類確認電流と電圧・電磁電気回路につい	ドライバ・ハン 日マスト/エ 「 「 「 「 で で で で で で で で で た アスト/エ に が で の 復 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	具チェック/		− <b>ラ・</b> タ					
	1 1 1	・トルク・レンチ・ト 工具の種類確認電流と電圧・電磁電気回路についサーキットテスタ値	ドライバ・ハン 日マスト/エ 「 「 「 「 で で で で で で で で で た アスト/エ に が で の 復 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	具チェック/		− <b>ラ・</b> タ					
	1 1 1	・トルク・レンチ・ト 工具の種類確認電流と電圧・電磁電気回路についサーキットテスタ値	ドライバ・ハン 日マスト/エ 「 「 「 「 で で で で で で で で で た アスト/エ に が で の 復 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	具チェック/		- <b>Э·</b> У					
	1 1 1	・トルク・レンチ・ト 工具の種類確認電流と電圧・電磁電気回路についサーキットテスタ値	ドライバ・ハン 日マスト/エ 「 「 「 「 で で で で で で で で で た アスト/エ に が で の 復 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	具チェック/		-5· <i>9</i>					
	1 1 1	・トルク・レンチ・ト 工具の種類確認電流と電圧・電磁電気回路についサーキットテスタ値	ドライバ・ハン 日マスト/エ 「 「 「 「 で で で で で で で で で た アスト/エ に が で の 復 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	具チェック/		<b>—</b> Э• У					

教	科	学科	科目		自動車総論	i		対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01	
		自動車工学							一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期	
教科	担当	(二級整備士)	加賀美 直。 泰史·中村			・福泊	篤5	E	<u>阿凡州无子</u> 得 1 <del>年</del>			
実務網	圣験教員		総時限		授業方法	講	義	評価方法	期末試験			
〔授業	概要・	目的〕	1									
* <u>三</u> 統	及整備	士試験合格レベ	ルに到達す		必要な計算	方法を	習	导する。				
*整值	前士とし	て業務で用いる	計算式が	里解でき、	計算方法を	習得	する。					
〔授業	の到達	目標〕	標〕									
·車が	走行に	関わる数字が一	連の姿とし	てつながる	ようになる							
・軸重	、減速	、増速、速度に	ついての計算	算ができる								
・圧力	、体積	、圧縮比について	ての計算が	できる								
〔学習	評価の	)基準〕										
試験	点数0	∑基準を、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	•						
試験	点数0	)評価は 5:9	0 ~100 <sub>F</sub>	点 4:7	5 ~ 89点	3:	60	~ 74点				
6 0	点未清	端の場合は再試!	験を行う。於	<b>当、再試</b> 騎	後の評価の	は試験	規和	呈による。				
〔使用	教科書	書・教材等〕										
*	前プリ	ントをレジュメとし	て、別途配	流。								
				授	業計画	〕表					No. 1	
実務経験	標準時限				授	業内容	字 (	項目)				
	2	1. ギヤの役割	とギヤ比(	減速比)	の求め方							
		2. ギヤ比から[	回転数、ト	ルクの求め	方							
		3. トランスミッシ	ションのギヤ	比計算								
		4. 終減速比、	デフとタイヤ	7回転数の	計算							
		5. 総減速比										
		練習問題(各耳	頁目終了こ	どに演習)								
	2	1. 排気量と総	緋気量の	求め方		·円の	面積	人体積計	算			
		2. 圧縮比のす	マめ方			・圧縮	比の	意味の理	解			
		3. 平均ピスト	ン速度の求	め方		・平均	ピス	トン速度の	意味の理解			
		4. カム・リフトと	_バルブ・ク!	リアランス		・比率	計算	草の理解				
		5. 出力(仕事	事率)の求	め方		・出力	(1	土事率)の	意味の理解			
		練習問題(各耳	頁目終了こ	どに演習)		·練習	問是	<b>運による実</b> だ	力養成			
				·			_	·		·		

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	自動車網	<b>総論</b>	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・	作成月日開講期	25/04/0 後期	
				144 HA = 1			研究開発学科 1年			
	177.16 at 07			授 業 計		TEC)			Νo.	2
実務経験	標準時限				授業内容(					
	2	1.プラネタリ・ギヤ	アとは			シキャリヤの				
							ーナルギヤ			
		2. プラネタリ・キ	ドヤの計算				え、その他は正転			
							が大きい場合増速			
		3. プーリーの変			・プーリーの					
		4. プーリーにか					区動側円周			
		練習問題(各項	1月終了ご	どに演習)	•練習問題	題による実	力養成			
	2	1. 圧力と力と	パスカルの原	京理	・パスカルの	の原理及で	バ1Paの意味			
		2. ブレーキカと	油圧計算	Ī	・テコの原	理から力の	)関係			
		3. トルクとは			<ul><li>基本とな</li></ul>	るトルクの	意味の理解			
		4. トルク・レン <del>.</del>	チの計算		・アダプタ作	付きの解き	方			
		練習問題(各項	頁目終了ご	どに演習)	•練習問題	題による実	力養成			
	2	新 力のモーメン	<b></b>							
		(1) <del>E</del>	ーメントの金	りか合い	・重心					
		(2)重	心		・軸重					
		練習問題(各項	頁目終了ご	とに演習)	·練習問題	質による実	力養成			

		, , ,		パワーフニット構造						作成月日	25/04/01
教科	教科 自動車工学 科目 パワーユニット構造			VINOCIA	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期				
教科担当		及整備士)	加賀美 值		, , , , , , ,	上博·1	届汨	馬史			
	(一系	<u> 及整備十)</u>	大塚 光善	<ul><li>・春原 雄</li></ul>	_						
実務経験教員	授業	非該当	総時限	40時限	授業方 法	講	義	評価方法	単元·期末試験		

#### 〔授業概要·目的〕

- \*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの
- 基礎知識・技術を習得する。
- \*二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- \*四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

#### 〔授業の到達目標〕

- ① 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。
- ② 燃料の精製・性状・添加剤・取り扱い上の注意を理解する。
- ③ 潤滑剤の目的・種類を理解する。
- ④ 基礎的な原理・法則の電気・磁気を理解する。

### 〔学習評価の基準〕

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### 〔使用教科書·教材等〕

- \*『基礎自動車工学』『三級自動車整備士(総合)』
  - :日本自動車整備振興会連合会『電装品構造』『内燃機関、燃料・油脂』:全国自動車大学校・整備専門学校協会

授業計画表 No.										
実務経験	標準時限		授業内容(項目)							
	1	エンジン本体 1	作動/4サイクル・エンジン/4サイクル・エンジン(ジーゼル)/2サイクル・エンジン							
	1	エンジン本体 2	2 構造・機能/シリンダ・ヘッド/シリンダ・ヘッド・ガスケット							
			シリンダ、クランクケース及びシリンダ・プロック/ ピストン、ピストン・ピン及びピストン・リング							
	1	エンジン本体3	ピストン・リング							
	1	エンジン本体4	コンロッド及びコンロッド・ベアリング/クランクシャフト及びジャーナル・ベアリング							
	1	エンジン本体 5	パルプ機構							
	1	エンジン本体6	トルク管理/締結の方法、注意点/行程関連(単気筒)							
	1	エンジン本体 7	4気筒の説明/4気筒の行程関連							
	1	エンジンの計算	トルクの計算							
	1	電装基礎 1	電気の基礎							
	1	電装基礎 2	電気回路							
	1	磁気、コイル	磁気/磁場/磁界および磁力線/磁束と密度/電流による磁界/コイル/電磁力/電磁	誘導						
	1	リレーとモータ	リレーと回路							
	1	バッテリ 1	第5章 エンジン電気装置・							

大教科目   中部	25/04/01
「	前期
1 バッテリ2 形式表示/充放電反応/容量/放電率/起電力/放電終止電圧 1 バッテリ3 放電特性/電解液比重と各要素との関係/バッテリーの整備・保守取り扱い 1 エンジンの計算 オームの法則/排気量 1 始動装置 1 始動装置 (概要・整備 1 始動装置 2 マグネット・スイッチ/作動 1 配線図 1 電気回路図(始動装置) 1 配線図 2 電気回路(二輪車) 1 冷却装置 1 冷却装置 1 冷却装置 2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置 2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置 3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/高検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤 潤滑剤の種類 1 潤滑剤、潤滑装 潤滑剤の種類 1 潤滑表置 著備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料 燃料装置 燃料装置 「カソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 な料装置「カソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 を備作 1 吸排気装置 軽備 1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置 1 吸排気装置・破男/構造 1 収料装置 2 掠筒が関連を作業 1 に火装置 1 に火装置 1 に火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造 1 点火装置 2 充電装置・概要/構造 1 点火装置 2 充電装置・概要/構造 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造	No.2
1 パッテリ3 放電特性/電解液比重と各要素との関係/パッテリーの整備・保守取り扱い 1 エンジンの計算 オームの法則/排気量 1 始動装置 1 始動装置 2 対クット・スイッチ/作動 1 配線図 1 電気回路図(始動装置) 1 配線図 2 電気回路(始動装置) 1 配線図 2 電気回路(始動装置) 1 心却装置 1 冷却装置 1 冷却装置 2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置 3 サーモスタット/アン/不凍液 1 冷却装置 3 サーモスタット/方々・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の種類 1 潤滑剤、潤滑暑 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料装置 ペンジェクタ・フューエルボンブ/タンク/パイブ 1 燃料装置 2 が料気装置 1 吸排気装置 1 収料気装置 2 が料気装置 1 収料気装置 2 が表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま	
1 エンジンの計算 オームの法則/排気量 1 始動装置 1 始動装置 2 マグネット・スイッチ/作動 1 配線図 1 電気回路図 (始動装置) 1 配線図 2 電気回路 (二輪車) 1 冷却装置 1 冷却装置 / 微却装置/概要/構造・機能 1 冷却装置 2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置 3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 著術作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料・燃料装置 燃料表置「ガソリン・エンジン」・概要 1 燃料表置 整備作業 1 燃料表置 整備 1 吸排気装置 1 吸排気装置 4 インジェクタ・フューエルポンブ/タンク/パイブ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置 1 点火装置 1 点火装置 1 点火装置 1 点火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 1 八ッテリ (復習) 1 充電装置 2 充電装置 1 概要/構造	
1 始動装置 1 始動装置/概要・整備	
1 始動装置 2 マグネット・スイッチ/作動     電気回路図(始動装置)     電気回路図(始動装置)     電気回路(に輪車)     お卸装置 1 冷却装置 / ペカ装置 / 概要/構造・機能     おかま置 2 ラジェータ及びサーモスタット     1 冷却装置 3 サーモスタット/ファン/不凍液     1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正     1 潤滑剤 潤滑製潤滑剤の作用     1 潤滑剤、潤滑装潤滑剤の種類     1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能     1 潤滑装置 整備作業     1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置     1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置     1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要     1 燃料装置 インジェクタ・フューエルボンブ/タンク/パイプ     1 燃料装置 整備     1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造     1 吸排気装置 2 排出ガス浄化装置     1 点火装置 1 点火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト     1 充電装置 2 充電装置・概要/構造     1 充電装置 1 パッテリ(復習)     1 充電装置 2 充電装置・概要/構造	
1 配線図1 電気回路(C軸車) 1 配線図2 電気回路(二輪車) 1 冷却装置1 冷却装置/概要/構造・機能 1 冷却装置2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤、潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料 燃料装置 がリン・エンジン」・概要 1 燃料を置 がリン・エンジン」・概要 1 燃料を置 がり、シェクタ・フューエルボンブ/タンク/パイプ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置1 吸排気装置・概要/構造 1 収排気装置2 排出ガス浄化装置 1 点火装置1 点火装置1 点火装置1 点火装置2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置2 充電装置・概要/構造 1 充電装置2 充電装置・概要/構造	
1 配線図2 電気回路(二輪車) 1 冷却装置1 冷却装置/概要/構造・機能 1 冷却装置2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤、潤滑穀 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 対イルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業	
1 冷却装置 1 冷却装置 / ペカ装置 / ペカ装置 2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置 3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤、潤滑装 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料装置 燃料装置 「ガソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 インジェクタ・フューエルボンブ/タンク/バイブ 1 燃料装置 を備 1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置 1 小交装置 1 に入装置 2 打造が入事化装置 1 に入装置 1 に入装置 2 打造が入事化装置 1 に入装置 1 に入装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 1 バッテリ (復習) 1 充電装置 2 た電装置・概要/構造 1 元電装置 2 た電装置・概要/構造 1 元電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 冷却装置 2 ラジェータ及びサーモスタット 1 冷却装置 3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤、潤滑類 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料装置 インジェクタ・フューエルポンプ/タンク/パイプ 1 燃料装置 4 クンジェクタ・フューエルポンプ/タンク/パイプ 1 燃料装置 5 値 1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置 2 排出ガス浄化装置 1 点火装置 1 点火装置 1 点火装置・概要/構造 1 京火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 1 バッテリ (復習) 1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 冷却装置 3 サーモスタット/ファン/不凍液 1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤、潤滑装 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業	
1 冷却装置 4 ラジェータ及びサーモスタット/点検・修正 1 潤滑剤 潤滑剤の作用 1 潤滑剤、潤滑装 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 インジェクタ・フューエルボンブ/タンク/パイプ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 点火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 1 バッテリ (復習) 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造	
1 潤滑剤 潤滑剤の作用  1 潤滑剤、潤滑装潤滑剤の種類  1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能  1 潤滑装置 整備作業  1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置  1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要  1 燃料装置 インジェクタ・フューエルポンブ/タンク/パイプ  1 燃料装置 整備  1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造  1 吸排気装置 2 排出ガス浄化装置  1 点火装置 1 元電装置 1 バッテリ (復習)  1 充電装置 2 充電装置・概要/構造  1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 潤滑剤、潤滑装 潤滑剤の種類 1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 インジェクタ・フューエルボンブ/タンク/パイプ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置2 排出ガス浄化装置 1 点火装置1 点火装置・概要/構造 1 点火装置1 点火装置・概要/構造 1 点火装置2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置1 バッテリ (復習) 1 充電装置2 充電装置・概要/構造 1 充電装置3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 潤滑装置 オイルの循環・構造・機能 1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 インジェクタ・フューエルボンプ/タンク/パイプ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置2 排出ガス浄化装置 1 点火装置1 点火装置・概要/構造 1 点火装置1 点火装置・概要/構造 1 点火装置2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置1 バッテリ (復習) 1 充電装置3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 潤滑装置 整備作業 1 燃料 燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置 1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要 1 燃料装置 インジェクタ・フューエルポンプ/タンク/パイプ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置 2 排出ガス浄化装置 1 点火装置 1 点火装置・概要/構造 1 点火装置 1 点火装置・概要/構造 1 京電装置 1 バッテリ (復習) 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造 1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 燃料・燃料装置       燃料及び潤滑剤/排出ガス浄化装置         1 燃料・燃料装置       燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要         1 燃料装置       を備         1 吸排気装置1 吸排気装置・概要/構造         1 吸排気装置2 排出ガス浄化装置         1 点火装置1 点火装置・概要/構造         1 点火装置2 気筒別独立点火方式(ダイレクト         1 充電装置1 バッテリ (復習)         1 充電装置3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 燃料・燃料装置 燃料装置「ガソリン・エンジン」・概要  1 燃料装置 インジェクタ・フューエルポンプ/タンク/パイプ  1 燃料装置 整備  1 吸排気装置1 吸排気装置・概要/構造  1 吸排気装置2 排出ガス浄化装置  1 点火装置1 点火装置・概要/構造  1 点火装置1 点火装置・概要/構造  1 京電装置1 バッテリ (復習)  1 充電装置2 充電装置・概要/構造  1 充電装置3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 燃料装置 インジェクタ・フューエルポンプ/タンク/パイプ 1 燃料装置 整備 1 吸排気装置1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置2 排出ガス浄化装置 1 点火装置1 点火装置・概要/構造 1 点火装置1 点火装置・概要/構造 1 点火装置2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置1 バッテリ (復習) 1 充電装置2 充電装置・概要/構造 1 充電装置3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 燃料装置       整備         1 吸排気装置1       吸排気装置・概要/構造         1 吸排気装置2       排出ガス浄化装置         1 点火装置1       点火装置・概要/構造         1 点火装置2       気筒別独立点火方式(ダイレクト         1 充電装置1       バッテリ (復習)         1 充電装置2       充電装置・概要/構造         1 充電装置3       レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 吸排気装置 1 吸排気装置・概要/構造 1 吸排気装置 2 排出ガス浄化装置 1 点火装置 1 点火装置・概要/構造 1 点火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 1 バッテリ (復習) 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造 1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 吸排気装置 2 排出ガス浄化装置	
1 点火装置 1 点火装置・概要/構造 1 点火装置 2 気筒別独立点火方式(ダイレクト 1 充電装置 1 バッテリ (復習) 1 充電装置 2 充電装置・概要/構造 1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 点火装置 2       気筒別独立点火方式(ダイレクト         1 充電装置 1       バッテリ (復習)         1 充電装置 2       充電装置・概要/構造         1 充電装置 3       レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 充電装置 1 バッテリ (復習)         1 充電装置 2 充電装置・概要/構造         1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 充電装置 2       充電装置・概要/構造         1 充電装置 3       レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 充電装置 3 レクチファイヤ/ボルテージ・レギュレータ	
1 エンジンの計算、トルク、アタッチ付きトルク、行程関連	

									I	
<b>≯/</b>	r#N	学科	£N □		こより。#華3生		対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
<b>子</b> X	(科	自動車工学	科目		シャシ構造		刈家級	一級自動車整備学科・	開講期	前期
ナルエハ	I+C \/	(二級整備士)	┃ ・中村 泰史	 ・中村 智恵	・日居 史也	]		研究開発学科 1年		
	担当		<u>春原 雄一</u>		1		1	Г		
	経験教員	71 27.	総時限	40時限	授業方法	講義	評価方法	単元·期末試験		
〔授業	概要・	目的〕								
二輪	及び四	輪自動車のシャ	シ系装置に	ついて、基	本構造と名	おみび作	動の理解	を目的とする。		
〔授業	の到達	目標〕								
* ‡	基本構	造と名称の習行	导 * 各部	部品の役割	」と機能の習	得 * 作	作動 (動き	)と動力伝達の習得	] }	
* 🖡	氢気の基	基礎知識の習得	* 電気製	長置の作動	の習得	* 電気の	基礎計算の	D習得 *電気装置	の作動の習	 習得
※ 整	を備士と	 :しての、心構え	,基礎知詞	 哉						
		)基準〕								
		・エーン )基準、レポートi	平価及授業の	)取り組みを	<u></u> 総合して.「	5 · 4 · 3 ·	2 · 1 lm <sup>-</sup>	 5段階で表わす。		
								, 122日 (377)。 		・格のもの
								ノ」のロック エ・ルが傾行い	こみい 11日	TIDVIOVI
(五)	响火	の評価は 5:						:+F++1111		
0								試験規程による。		
			に優れている	4:優れ	ている 3:	普 通	2:やや劣	る 1:劣る(再提出	い必要があ	る) ———
		<b>書・</b> 教材等〕 								
三級国	自動車	総合,電装品	構造,HM	SE3級,	テキスト、	也				
				授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限				授	業内容(	(項目)			
	4	●授業項目	(前半) 重	力伝達装	置導入	クラッチ1,	2, 3			
		Ⅱ 動力伝達	装置							
		1 概要/2	構造・機能							
	3	●授業項目	(後半) ト	ランスミッシ	ョン1、2、	3				
	1	●授業項目	(後半) ト	ランスファ、	LSD					
	2	●授業項目	 (前半) ブ	゜ロペラシャフ	 フト、ドライブ	シャフト				
	2	●授業項目		ィファレンシ						
	2	●授業項目			 スペンション	1、2				
	2	●授業項目					・ナット型を	 ·除く)		
	2	●授業項目		テアリング学		ボール・ナッ		-100 V		
				ン・ワンフェ  :イール、タイ		· W 79	· <del>*</del> /			
1	2	●授業項目								
1	3	●授業項目		<sup>1</sup> νーキ1、		_ +4.				
		1		レーム ボニ	デー(四輪	、二輪)				
	1	●授業項目	_							
	1 2	<ul><li>授業項目</li><li>授業項目</li></ul>	_							
			(後半) 湿	武多板ク		侖)				

		学科					専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車工学	小教科目	シャシ村	<b>冓</b> 造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
	,		<del>-</del>	授 業 計	画表			-	No. 2
実務経験	標準時限				授業内容(	項目)			
	1	●授業項目(復	後半) 二	輪ステアリング					
	1	●授業項目(復	後半) V	マチック単体(二	輪)				
	1	●授業項目(前	前半) 電	気導入 I					
	1	●授業項目(前	前半) 電	気導入Ⅱ					
	2	●授業項目(前	前半) 基	礎理論Ⅰ、Ⅱ	(電気回路の	計算)			
	2	●授業項目(前	前半) 基	礎理論Ⅲ、Ⅳ	(電流と電圧,	抵抗の記	†測)		
	2	●授業項目(征	後半) 灯	火装置 I					
	2	●授業項目(征	<b>後半)</b> 灯	火装置 II					

	5			パワーユニット整備						作成月日	25/04/01
教科	教科 学科 科目 パワーユニッ		リーユニット素	を備		MINEEN	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期		
教科担当	■ 教科扫当   ` ̄***エ***ニ**		加賀美 追大塚 光善		, , , , , , ,	上博・1	届汨	篤史			
実務経験教員		非該当	総時限	34時限	授業方 法	講	義	評価方法	単元·期末試験		

#### 〔授業概要·目的〕

- \*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの
- 基礎知識・技術を習得する。
- \*二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- \*四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

#### 〔授業の到達目標〕

- ① 前期学習内容を再確認しながら基本的な点検、測定、良否判定、調整方法を習得させる。
- ② 電子制御燃料噴射装置の基本的な構造、機能を理解する。
- ③ 排気ガス対策の基本的な構造、機能を理解する。
- ④ 基礎的な原理・法則、自動車の諸元に関わる計算方法を理解する。

### 〔学習評価の基準〕

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

### 〔使用教科書·教材等〕

- \*『基礎自動車工学』『三級自動車整備士(総合)』
  - : 日本自動車整備振興会連合会『電装品構造』『内燃機関、燃料・油脂』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会

			授 業 計 画 表	No. 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	2	前ローテ	・前期-後半の学科内容を復習	
	2	燃焼・排出ガス	・燃焼に必要な空気量/熱効率/熱の移動/燃焼の状態/排出ガス	
	2	ジーゼル・	・内燃機関の分類(作動方式による分類、燃焼方式による分類、着火又は点火ス	式による、
		エンジン	燃料の種類及び供給方式による分類)	
			ジーゼル・エンジン(概要、作動、燃焼、排出ガス)	
	2		・エンジン本体(構造・機能)/コモンレール式高圧燃料噴射装置	
	2	始動装置	リダクション式・整備	
	1	充電装置	充電制御1	
	1	充電装置	充電制御 2	
	2	バッテリ	充電と異常検知/充電方法	
	1	電子制御装置	概要・構造/機能	
	1	電子制御装置	吸気系統/燃料系統	
	1	電子制御装置	点火/制御系統	
	2	復習	これまでの練習問題	

研究開発学科 1年	5/04/01
大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田	後期
1 復習 前半振り返り 1 潤滑・冷却 整備  装置整備 1 エンジン本体 シリンダ・ヘッド、シリンダ及びシリンダ・ブロック 整備 1 1 エンジン本体 ピストン、ピストン・ピン、ピストン・リング、コンロッド、コンロッド・ベアリング 整備 2 1 エンジン本体 クランク・シャフト 整備 3 1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ 整備 4 1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比 1 総合復習 3級エンジン領域復習 1 復習 前半振り返り 1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークブラグ 1 二輪車電気装置、充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	lo. 2
1 潤滑・冷却 整備 装置整備   1 エンジン本体 シリンダ・ヘッド、シリンダ及びシリンダ・ブロック 整備 1   1 エンジン本体 ビストン、ビストン・ビン、ビストン・リング、コンロッド、コンロッド・ベアリング 整備 2   1 エンジン本体 クランク・シャフト 整備 3   1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ 整備 4   1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比   1 総合復習 3級エンジン領域復習   1 復習 前半振り返り   1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ   1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ   1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ   1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ   1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
装置整備	
1 エンジン本体 シリンダ・ヘッド、シリンダ及びシリンダ・ブロック 整備 1 1 エンジン本体 ピストン、ピストン・ピン、ピストン・リング、コンロッド、コンロッド・ベアリング 整備 2 1 エンジン本体 クランク・シャフト 整備 3 1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ 整備 4 1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比 1 総合復習 3級エンジン領域復習 1 復習 前半振り返り 1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
整備1         1 エンジン本体       ピストン、ピストン・ピン、ピストン・リング、コンロッド、コンロッド・ベアリング         整備2         1 エンジン本体       クランク・シャフト         整備3         1 エンジン本体       クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ         整備4         1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比         1 総合復習 3級エンジン領域復習         1 復習 前半振り返り         1 点火装置1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ         1 点火装置2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ         1 二輪車電気装置、充電装置、バッテリ         1 二輪車電気装置点火装置、始動装置	
1 エンジン本体 ピストン、ピストン・ピン、ピストン・リング、コンロッド、コンロッド・ベアリング 整備 2 1 エンジン本体 クランク・シャフト 整備 3 1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ 整備 4 1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比 1 総合復習 3級エンジン領域復習 前半振り返り 1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
整備2         1 エンジン本体 クランク・シャフト         整備3         1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ 整備4         1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比         1 総合復習 3級エンジン領域復習         1 復習 前半振り返り         1 点火装置1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ         1 点火装置2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ         1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ         1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1       エンジン本体       クランク・シャフト         整備3       1       エンジン本体       クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ         整備4       1       エンジンの計算       トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比         1       総合復習       3級エンジン領域復習         1       復習       前半振り返り         1       点火装置 1       復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ         1       点火装置 2       復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ         1       二輪車電気装置 充電装置、バッテリ         1       二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
整備3  1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギャ 整備4  1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比  1 総合復習 3級エンジン領域復習  1 復習 前半振り返り  1 点火装置1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ  1 点火装置2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ  1 二輪車電気装置充電装置、バッテリ  1 二輪車電気装置点火装置、始動装置	
1 エンジン本体 クランク・シャフト、ジャーナル・ベアリング、フライホイール、リング・ギヤ 整備4 1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比 1 総合復習 3級エンジン領域復習 1 復習 前半振り返り 1 点火装置1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
整備4  1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比  1 総合復習 3級エンジン領域復習  1 復習 前半振り返り  1 点火装置1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ  1 点火装置2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ  1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ  1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 エンジンの計算 トルク、平均ピストン速度、排気量、圧縮比 1 総合復習 3級エンジン領域復習 1 復習 前半振り返り 1 点火装置1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 総合復習 3級エンジン領域復習  1 復習 前半振り返り  1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ  1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ  1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ  1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 復習 前半振り返り 1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 点火装置 1 復習:自己誘導作用、相互誘導作用、イグナイタ、回転センサ 1 点火装置 2 復習:イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 点火装置 2 復習: イグニッション・コイル、スパークプラグ 1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 二輪車電気装置 充電装置、バッテリ 1 二輪車電気装置 点火装置、始動装置	
1 二輪車電気装置、始動装置	
2 復習 練習問題	

									====10	/ <u>-</u>	0= (0 4 (0 4
<b>≱</b> ⁄h	科	学科	科目		シャシ整備			対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
致	. <del>↑`1</del>	自動車整備	竹田		ンヤン登舗			为了多个形义	一級自動車整備学科・	開講期	後期
おんそい	担当	(二級整備士)	中村 泰見	 	・日居 史也	]			研究開発学科 1年		
		(一級整備士)									
実務網	怪験教員	授業   非該当 	総時限	34時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末試験		
〔授業	概要・	目的〕									
二輪	及び四	輪自動車のシャ:	シ系各装	置について、	基本構造の	D復習	と更	なる理解	度の向上を目的とする	5	
〔授業	の到達	目標〕									
二輪加	及び四	輪自動車シャシ(	の各装置		本構造の理	里解度	を上	げると共に	、整備法の基本を理	 望解させる。	
各部品	品の点を	検,調整,測定 検,調整,測定	 官、メンテ	ナンスの要令							
		おいて、定期点材				アション	亜鉛	面の翌得			
			× (12/J)			7667	را <del>بح</del> .	H(A) EI (A)			
		)基準〕 	=======================================	₩ ~ II- '^	17. ± 60. 5 ·		_	4 2 2			
									1 」の 5 段階で表わ		
5:	特に成	績優秀なもの 4	: 成績良	のもの 3:	成績普通の	もの	2 :	は積やや	劣るもの 1:成績特(	こ劣り、不合	格のもの
各註	<b>t験点数</b>	数の評価は 5	: 90 ~1	00点 4:	75 ~ 89	点	3 : 6	60 ~ 74	点		
		(	6 0 点未	満の場合は	再試験を行	う。冶	1、再	試験後の	評価は試験規程によ	<b>こ</b> る。	
レボ る)	一トの語	平価は 5:非常	宅に優れ	(いる 4:	優れている	3:	晋	通 2	: やや劣る 1:劣る	(再提出	の必要があ
	教科										
=級	 自動車		. 雷装	 品構造,=	級一輪白	動車.	HN	MSF3級.	テキスト. 他		
			,		業計画				,		No. 1
実務経験	標準時限						容(	項目)			
	2	●授業項目 (	(前半)	走行性能由	 由線						
	2	●授業項目(i	 前半) <sup>·</sup>	クラッチ整備	 法						
	1		後半) :	安全装置							
	2	<ul><li>●授業項目(i</li></ul>		トルク・コンバ	 ータ						
	2	●授業項目(i		A T	•						
	1	●授業項目(2		動力伝達装	置整備法						
	1	●授業項目(2		アクスル・サス							
	1	●授業項目(2		タイヤ・ホイー							
	4	●授業項目(2		ホイール・アラ		2.	3、	4			
	2	●授業項目(i		ブレーキ整備				-			
	2	●授業項目(2		デージャップ 制動倍力装							
	1	●授業項目 「		. 5-5 IH/5-IX	<u>-</u>						
	1	●授業項目(2		 定期点検の	 要領						
	1	●授業項目(i		基礎理論(							
	2	●授業項目(2		<u> </u>							
	1	●授業項目(i		1.44.15 灯火装置							
	T	♥1又未以口()	וים לים וים	小人衣但							

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目		シャシ整	備	対象級	専門課程サービスエンジニア学科・		25/04/01
		山坳十二〕						一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
				授	業計	画 表				No. 2
実務経験	標準時限					授業内容()	項目)			
	2	●授業項目(前	前半) 計	器1、2						
	2	●授業項目(前	前半) ワ	イパ1、2						
	2	●授業項目(徭	後半) エ	アコン						
	2	●授業項目(征	後半) パ	ーツ・カタロ	]グ					

		学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備	科目	=	二輪車整備	Ī		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・	開講期	後期
		(二級整備士)	加賀丰 百	人,関根、健	· XWIII 11-18	9.2只门	雀	<del>-</del>	研究開発学科 1年	1713143743	12771
教科	担当		加負失			т іш/Ц	נפה				
実務網	Z験教員	損授業 非該当	総時限	11時限	授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕									
二輪自	動車	の基本構造・機能	能を理解し	 、安全で研	 幹実な点検	• 整備	がで	 きる技術と	 公職を習得させる		
		の責任感や法令									
프까그		少兵 <u>仁</u> 恐下五 1.	近りの窓	IMCH CO	СССПР						
〔授業	の到達	目標〕									
	* =	基本構造と名称	か習得確	窜認							
	* 4	各部品の役割と	機能の習	得確認							
	* /	マンダ2輪サービ	スエンジニ	アHMS	Eの基礎	習得码	在認	ט ס			
「学習	評価の										
			<b>評価及授</b>	業の取り組	みを総合し	, <del>т</del> Г	5 •	4 . 3 . 2 .	 · 1 ]の 5 段階で表わ	<u>ਰ</u>	
									************************************		
										こかり、 个ロ	<b>祖の</b> のの
店合	映只多	数の評価は 5 :									
			5 0 点未満	の場合は	冉試験を行	が。 尚	1、冉	ま試験後の	評価は試験規程によ	てる。 	
〔使用	教科書	書·教材等〕									
三級自	動車	整備士(総合)	、ホンダH	MSE3	級テキスト	(二輔	龠)	、電卓			
											No. 1
実務経験	標準時限				授	業内容	字 (	項目)			
	1	二輪PU 1	二輪復習	ボルト・オ	├ット、ワッシ	ヤ					
	1	二輪PU 2	ピストン、し		ン及びピス	ン・リン	ング、	クランク・シ	 シャフト、バルブ機構		
	1	 二輪PU 3	冷却装置	構造機能	 能						
	1	 二輪PU 4	始動装置 始動装置	概要、整	整備方法/5	5火装	置、	整備方法	 :、点火順序		
	1	二輪PU 5			子作用、二						
	1	  二輪シャシ 1		力伝達装記		+m <del> +</del> /1	J_L_		ידי הי רו וייר		
						フロト. <i>ド</i>	)`\±±	罢			
	1	二輪シャシ 2			ション・ステ			트			
	1	二輪シャシ3			ホイール・ア						
1	1	二輪シャシ4	プレーキ装	置、フレー	ム及びボテ	゠゙ー、ブ	レー	キの点検			

1 +4	<b>1</b> 10	学科	小教科		+^-+	<i>-</i>	1100	専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車工学	目	-	二輪車雪	<b></b>	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授	業計	画表	Į.	101711 <del>11711-11-1</del>	<u> </u>	No. 2
実務経験	標準時限					授業内容(	項目)			
	1	二輪シャシ 5	シャシ電気	装置						
			灯火装置	計器、市	<b>ī</b> ーン					
	1	二輪総合	総合復習							
			理解度確	記						

			学科							専門課程	作成月日	25/04/01
教	科		車整備に する法規	科目	1	自動車法規	見		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
教科	担当	(二新		加賀美 直。 泰史·中村			す・福泊	月篤	史		<u>I</u>	
実務組	圣験教員	授業	非該当	総時限	4時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要・	目的〕					<u>I</u>					
自動車	■整備:	±として	で必要な「道	<b>直路運送車</b>	両法」の基	本的な法を	令知諳	説を身	トにつけ、			
法令は	則った	適正	な整備・点	検業務を行	すえる基礎	を養う。						
〔授業	の到達	<b>桂目標</b>	)									
自動耳	車整備	士とし	て、法律を	理解して「し	<b>」てはいけ</b>	ないこと」「マ	守るべ	きこと	」を判断で	きる		
点検・	整備に	関する	3法定点検	険·記録簿∅	D保存など	を理解し、	実務に	こどう	関わるかを	説明できる。		
保安基	ま準に	ついて、	主要な項	目(灯火	類、ブレー	キ、タイヤな	) (当	こつし	て説明で	<b>≛</b> る。		
〔学習	評価の	)基準	)									
評価な	ĵU											
〔使用												
図解	3級法	令(公	論社)									
												No. 1
実務経験	標準時限						受業内	容(	項目)			
	4			った、道路道		去の復習						
				<b>墜車両法</b>								
				<b>墜送車両の</b>	保安基準	関係 ————						
		● 埋	解度確認									

		実習	小教科					専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作業	目		整備作業		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	(二級整備士) 中村			和美・松流			竹村 敬一郎		
実務約	圣験教員		総時限	10時限	授業方 法	講				
〔授業	概要・	目的〕			,,,		•			
実習し	/ポート	の作成								
E機器	/二輪	車・コ	具の名前	を覚えて使	い方を理解	·二	輪自動車の	D理解		
C工具	導入_	/ジャッキ・お客村	 美の財産を	扱うという	意識を持た	せる・	整備作業を	安全にのルールを理解	2	
〔授業	の到達	目標〕								
・実習	レポート	が作成できる								
・トラス	ター内の	D工具チェックができ	 る							
・車両	チェック、	CSキットの脱着が	確実に行え	 .る						
・車両の	のジャッ	キアップ、ダウン時に	安全作業力	が確実に行え	ิริส					
〔学習	評価の	)基準〕								
	評価な	ĵL								
〔使用	教科書	書·教材等〕								
・レポ-	- 卜作5	戈(ipad)								
				授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限				授	業内容	(項目)			
	1	<ul><li>実習レポートの</li></ul>	目的/評価	ポイント説	明/注意事	項				
	1	・実物の見学/レ	ポート作成	、例題によ	る演習					
	1	·実習説明、工具	具説明、ト	ラスターエ!	具チェック					
	1	・工具(トルクレ	ンチ) の使	い方説明	、測定作業	<b>美ノギスの</b>	使い方説明	月		
	1	・二輪自動車に	<u></u> 触れる、ス-	ーパーCUE	の歴史					
		・部品 (キャリア)	)の脱着化	乍業・ノギス	測定作業					
		•道路運送車両	法の保安基	基準につい	て説明					
	1	・日常点検につい		- 3常点検動	协画					
	1	・実習場使用の	注意事項							
	1	・ガレージジャッキ	·使用方法	説明(動	画含む)、	リジッド	ラック、ジャッ	キアップ時の注意事項		
	1	・十字レンチ使用	まによるトル	クダウン/タ	イヤ脱着/	タイヤデン	プスゲージ使	用方法		
	1	・タイヤ残量測定	:/タイヤ取(	付時の注意	点共有/	トルクレン	チ説明、使	用方法		

		実習								作成月日	25/04/01
教科	自動	車整備作 業	科目	パワーユニット構造		NI SOLIN	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期		
教科担当		及整備士)	加賀美 值		,_ ,_, _	上博・1	届汨	馬史			
	(一系	<u> 及整備十)</u>	大塚 光善	<u>・春原 雄</u>							
実務経験教員	授業	非該当	総時限	88時限	授業方 法	演	習	評価方法	単元·期末試験	レポート評価	

### 〔授業概要·目的〕

\*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- \*二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- \*四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

#### 〔授業の到達目標〕

- ① 整備士としての、心構え、基礎知識及び基本作業が実践できること。
- ② 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。

### (学習評価の基準)

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レホートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 迪 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要かある)

### 〔使用教科書·教材等〕

\*『基礎自動車工学』『三級自動車整備士(総合)』: 日本自動車整備振興会連合会

『電装品構造』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会、『エンジン構造電装テキスト』『実習用テキスト』

			授 業 計 画 表	No. 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	8	GX120	(前半)	
		分解·組立	・4サイクル・ガソリン・エンジン(OHV型)の基本構造の理解	
			・4サイクル・ガソリン・エンジンの行程の理解	
			・部品名称と機能の理解	
			・分解・組立の作業技術の習得	
	4	二輪4サイクル	(前半)	
		エンジンの構造	・4サイクル・ガソリン・エンジン(OHC型)の行程、部品名称、役割の理解	
		C50シリンダ	・OHC型空冷単気筒ガソリン・エンジンの分解・組立の習得	
		分解組立		
	8	R20Aシリンダ・	(前半)	
		ヘッド分解・	・4気筒の行程関連を理解	
		組立	・タイミング・チェーンの脱着技術の習得	
			・シリンダ・ヘッドの構造・機能を理解	
			・分解・作業の技術を習得	

大教	科目	実習 自動車整備作	小教科目	パワーユニット構造	対象級	専門課程サービスエンジニア学科・	作成月日							
		業	П			一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期	Ŋ.					
				授業計画表				Νo.	2					
実務経験	標準時限			授業内容(	項目)									
	2	電装基礎	(前半)											
			・アナログョ	式サーキット・テスタの取り扱いを	習得する									
			・電装の基	基礎的な原理を理解する										
	4	ねじ切	(前半)											
		、ヘリサート	・基礎自動	を受ける はできる はでも はできる はでも はできる はでも はできる はでも はでも はでも はでも はでも はでも はでも はでも										
			・ねじ切り	2じ切り加工、ヘリサート加工を習得										
	4	電流と磁気	(前半)											
			・電装の基	電装の基本的な原理を理解										
	4	始動装置	(前半)	前半)										
		(単品)	・始動装置	置の回路の構成を理解										
			・スタータ・	モータの作動を理解										
			・直結式ス	スタータ・モータの構成部品を理解	译									
			・直結式ス	スタータ・モータの分解・組立技術	で習得									
	4	始動装置	(前半)											
		(実車)	・バッテリの	)点検技術を習得										
			・スタータ・	モータの作動回路、各部の名称	で理解									
			・リダクショ	ン式スタータ・モータ(外接式) 0	分解•組	立技術を習得								
	2	スキルチェック	(前半)											
			·実習授業	業のスキル確認を実施										
	4	D16Aエンジン	(後半)											
		分解·組立	·SOHC型	<b>゚</b> ゚゚゚゚ガソリン・エンジンのタイミング・^	ルト脱着	作業の習得								
			·SOHC型	型、DOHC型のバルブ機構の理解	解									
			・4サイクル	<ul><li>がソリン・エンジンの行程管理</li></ul>	を理解									
	16	R20A	(後半)											
		冷却装置·	・シリンダ・	ヘッドの分解・組立の復習										
		潤滑装置	・冷却装置	置の部品名称、構造、機能を理	解									
			・冷却装置	置の循環経路を理解										
			・潤滑装置	置の部品名称、構造、機能を理	解									
			・潤滑装置	置のオイル循環経路を理解										
			・シリンダ・	ブロックの分解・組立手順を習得	<b></b>									
	2	行程関連	(後半)											
			・行程関連	車を理解/バルブ・クリアランスの涙	定技術習	習得/実機エンジンより	点火順序	が判断						

1 1/6	TN E	実習	小教科	11°C 1 4±74-	11. <del>2</del> .47	専門課程	作成月日	25/04/	/01						
大教	科目	自動車整備作業	目	パワーユニット構造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期	]						
				授業計画表				Νo.	3						
実務経験	標準時限			授業内容(	項目)										
	4	点火装置 2	(後半)												
		(実車)	・回路図と	回路図と実車の構造を理解する											
			・基本的な	基本的な点火装置の構造を理解する											
	4	充電装置1	(後半)	後半)											
		(単品)	・オルタネー	オルタネータの部品名称、構造、機能を理解する											
			•交流発生	交流発生の原理を理解する											
	4	充電装置2	(後半)												
		(実車)	・オルタネ-	ータ、バッテリ、電気負荷の関係に	回路を理解	解する									
			・ジャッキ・	アップ作業の習得											
			・オルタネ-	-タベルトの張力測定											
	4	吸排気·燃料	(後半)												
		装置(実車)	・吸排気数	長置の名称、構造、機能を理解	!する										
			・燃料装置	置の名称、構造、機能を理解す	る										
	2	スキルチェック	(後半)												
			・実習授業	業のスキル確認を実施											

+4	-T.V	実習	<b>11</b> -	> > 1#+>#-	1167.67	専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備作業		シャシ構造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
教科	担当	(二級整備士) (一級整備士)		中村 智思·佐滕 和美· A	松沢 高志·臼居 S	巴也·竹村 敬一郎		
実務約	圣験教員		総時限	88時限 授業方法 実	習·実技 評価方法	実習試験 単元·期末試験		
二輪	及び四	輪自動車シャシの	D各装置に	ついて、基本構造, 作動	协,機能,名称(	の習得を目的とする。		
〔授業	の到達	[目標]						
* 基	本構造	きと名称の習得	* 各部品	の役割と機能の習得 *	*作動(動き)。	と動力伝達の習得		
* 電	気の基	礎知識を習得	* サーキ	ットテスタの構造を理解し	、正しい取り扱い	の習得		
ж =	輪につ	いては、HMSE-3	3級修了に	向けての基礎習 ※ 整	備士としての、心	構え,基礎知識,及	び基本作	 業
〔学習	評価の	)基準〕						
各試	<b></b>	の基準、レポート	評価及授	業の取り組みを総合して	. [5 · 4 · 3 · 2	・1 」の 5 段階で表わ	す。	
5:	特に成	 績優秀なもの 4	: 成績良の	もの 3:成績普通のもの	2:成績やや		こ劣り、不合	格のもの
各証	大験点		90 ~10	0点 4:75~89点	3:60 ~ 74	<u></u> 点		
		6	5 0 点未満	の場合は再試験を行う。	。尚、再試験後の	)評価は試験規程によ	<b>さる。</b>	
	一トの記	半価は 5:非語	引に慢れく	いる 4:優れ(いる 3	3:普 連 2	: やや劣る 1 : 劣る	(冉提出	の必要かあ
る) 〔使用	教科							
三級目	自動車	整備士(総合)	,基礎自	  動車整備作業,電装品	 品構造,HMSE	3級, テキスト, 他		
					 表			No. 1
実務経験	標準時限			授業	内容(項目)			
	4	日常点検+ジャ	ハナアップ					
		ロロボス・ンド	フェノフノ					
		トルク・レンチ	74777	IX I				
			74777					
		トルク・レンチ	) <del>11</del> ) ))					
		トルク・レンチ タイヤ・ゲージ						
		トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ						
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII – 1 ガレーシ	ジ・ジャッキ					
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検	ジ・ジャツキ					
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール	ジ・ジャッキ脱着					
		トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール ・タイヤ・チェンジ	ジ・ジャッキ 脱着 ヤ サ					
		トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール ・タイヤ・チェンジ・ホイール・バラン 乾式単板クラッチ	ジ・ジャッキ 脱着 ヤ サ					
		トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール ・タイヤ・チェンジ・ホイール・バラン 乾式単板クラッチ	ジ・ジャッキ 脱着 P サ F	i				
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール・タイヤ・チェンジ・ホイール・バラン 乾式単板クラッラ トランスミシ	ジ・ジャッキ 脱着 ヤ ・サ チ シション脱着 シッション分角	i				
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール・タイヤ・チェンジ・ホイール・バラン 乾式単板クラッラ トランスミシ	ジ・ジャッキ 脱着 ヤ サ チ ッション脱着 ジディファレ	· 军·組立				
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ VIII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール・タイヤ・チェンジ・ホイール・バラン 乾式単板クラッジ トランスミン FR用トランスミファイナルギヤ及 機能,名	ジ・ジャッキ 脱着 ヤ サ チ ッション脱着 ジディファレ	デ イ・組立 ンシャルとドライブシャフト				
	4	トルク・レンチ タイヤ・ゲージ デプス・ゲージ WII - 1 ガレージ ・日常点検 タイヤ&ホイール・タイヤ・チェンジ・ホイール・バラン 乾式単板クラッジ トランスミン FR用トランスミンファイナルギヤ及・機能,名 アジャスト	ジ・ジャッキ 脱着 ヤ サ チ ッション脱着 びディファレ 称と種類	F・組立 ンシャルとドライブシャフト の構造,				

		実習					専門課程	作成月日	25/04/01				
大教	科目	自動車整備作 業	小教科目	シャシ	<b>溝</b> 造	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期				
				授業計	上画 表				No. 2				
実務経験	標準時限				授業内容(	(項目)							
	4	サスペンションとア	'クスル										
		サスペンシ	ョン、アクス	ルの構造理解									
		ストラット型	型(独立思	懸架)									
	4	ブレーキ装置 1											
		ブレーキ装	置の観察										
		マスタ・シリ	Jンダ (単品	品)									
		ディスク式	ブレーキ(	フロント)									
	4	ブレーキ装置 2											
		ドラム・ブレ	ノーキ(リヤ	7)									
	4	ステアリング操作	機構・ギヤ	機構(ラック・ピニ	オン型)								
		ステアリング	グ操作機構	<b></b>									
		ラック・ピニ	オン型ステ	アリング									
		 ●授業項目(復	ラック・ピニオン型ステアリング 授業項目(後半) ボール・ナット単品										
		使用教材 ボール	ル・ナット型	ステアリンク単体									
	4	ステアリング・ギヤ	·機構(ボ·	ール・ナット型)									
		ボールナッ	ト型ステア	リング機構									
	2	〔2輪〕ベルト式	無段変速	幾(Vマチック)									
		構造,機	能,名称	, 役割									
	4	〔2輪〕フロント・	フォーク										
		フロント・フ	オーク分解	4,組立									
		名称,種	類,特徴	, 各部の役割									
	4	〔2輪〕湿式多株	反クラッチ <	Ape>									
		名称, 種	類,特徴	, 各部の役割									
			はんだ、配	<b>記線</b>									
	4	電気基礎											
			-ドでの結約	泉と測定									
	2	電圧測定1(単											
		プラス制徒											
	-	マイナス制											
	2		(復習)										
		不具合箇	別の特定										
	4	灯火装置1											
		灯火装置	の配線図	、配線色の解読、	スイッチ類の導	拿通点検,	接続						

		実習								専門課程	作成月日	25/04/01
大教	科目	自動車整備作 業	小教科目		シャ	シ構	造		対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	前期
				授	業	計	画	表	-			No. 3
実務経験	標準時限						授	業内容	(項目)			
	4	灯火装置 2										
		灯火装置	の実体配	線図の解	読							
		テスタによ	る電圧降	下の点検								
		スイッチ類	の導通点	矣								
		バルブ交担	奐									
	2	灯火装置3(2	2 輪ボード)	)								
		*回路図	ヒボードの回	]路比較								
	2	灯火装置4(2	2 輪実習)									
		*回路図	と実車の回	路比較								
		*テスタに。	よる導通点	検、抵抗	点検	È						
	2	スキルチェック(き	シャシ)									
		・実習の総	総合復習									
	2	スキルチェック(智	電装)									
		授業項目(前当			シヤシ							
	2	授業項目(前半	半·後半)	計算(富	電装	)						
					_							

業 一級自動車整備学科・ 開講期 後期 研究開発学科 1年 教科担当 (二級整備主) 加賀美 直人・関根 健・細川 止博・福汩 馬史			実習							専門課程	作成月日	25/04/01
I	教科	自動 <sup> </sup> 	. —	科目	パワ	パワーユニット整備					開講期	後期
	教科担当 (二級整備士) 加賀美 直人・関根 健・細川 止博・届旧 (一級整備士) 大塚 光善・春原 雄一					汨	篤史					
実務経験教員授業 非該当 総時限 94時限 授業方 法 講 義 評価方法 単元·期末試験 レポート評価	実務経験教員授業 非該当 総時限 94時限 授業方 講 義				義	評価方法	単元·期末試験	レポート評価				

### 〔授業概要·目的〕

\*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- \*二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- \*四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

#### 〔授業の到達目標〕

- ① 整備士としての、心構え、基礎知識及び基本作業が実践できること。
- ② 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。

### (学習評価の基準)

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の基準を、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レホートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 迪 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要かある)

### 〔使用教科書·教材等〕

\*『基礎自動車工学』『三級自動車ガソリン・エンジン』『三級二輪自動車』 『基礎自動車整備作業』: 日本自動車整備振り 連合会、『電装品構造』: 全国自動車大学校・整備専門学校協会、『パワーユニット整備実習テキスト』

			授 業 計 画 表	No. 1
実務経験	標準時限		授業内容(項目)	
	2	前期エンジン	(前半)	
		復習	<ul><li>・D16AIンジンの復習</li></ul>	
			・R 2 0 Aエンジンの復習	
	2	前期電装	(前半)	
		復習	・点火装置の復習	
			・ 充電装置の復習	
			・燃料装置の復習	
			・吸排気装置の復習	
			・始動装置の復習	
	4	CB1100	(前半)	
		分解·組立	・二輪車エンジンの主要パーツ、基礎知識	
			・二輪車空冷式エンジン DOHCシリンダ・ヘッド分解・組み立て	
			・自動車の諸元	

		実習	小教科			専門課程	作成月日	25/04/	/01		
大教	科目	自動車整備作 業	目	エンジン整備	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・	開講期	後期	]		
				 授業計画表		研究開発学科 1年		No.	2		
実務経験	標準時限				 項目)				_		
	4	ジーゼル・	(前半)								
		エンジン	·汎用ジ-	 -ゼル・エンジンの分解・組立							
		分解·組立									
	4	始動装置	(前半)								
		(単品)	・始動装置	置の復習							
			・始動装置	置の整備							
	4	始動装置	(前半)								
		(実車)	・バッテリの								
			・始動装置	置の点検							
	4	充電装置 ())(日)	(前半)								
		(単品)		置の回路と点検							
	8	CB400SF	(前半)	A							
		分解·組立									
			・二輪車整備(DOHCエンジン本体、冷却装置)								
	4	充電装置 ————————————————————————————————————	(前半)								
		(実車)	・実車上で	での充電装置の測定、点検							
	4	電子制御	(前半)								
		装置(単品)	・エンジン	単体の電子制御装置							
			・排出ガス	(净化装置 ————————————————————————————————————							
	4	電子制御	(前半)								
		装置(実車)	・実車上の	)電子制御装置							
	2	実習電装	(前半)								
		スキルチェック	・後期-前	半の実習授業内容の復習							
	2	エンジン実習	(前半)								
		スキルチェック	•後期-前	半の実習授業内容の復習							
	2	前ローテ	(後半)								
		電装復習	•後期-前	半の実習授業内容の復習							
	2	前ローテ	(後半)								
		エンジン復習	•後期-前	半の実習授業内容の復習							
	8	R20A	(後半)								
		エンジン整備	・エンジン	本体の整備項目、測定具、測定	三方法及び	が良否判定の習得					
	4	GX120測定	(後半)								
			・エンジンス			 が良否判定の習得					

大教	利日	実習 自動車整備作	小教科	エンジン整備	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01				
八软	170	業	目	エノノノ正岬	为1364次	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期				
				授業計画表				No. 3				
実務経験	標準時限			授業内容(	項目)							
	4	E07Z	(後半)									
		分解·組立	・エンジン	単体の電子制御装置類の復習								
			・スロットル	·・ポジション・センサの点検								
			-接点式	スロットル・ポジション・センサの担	抗測定							
			・3 気筒の	D行程関連								
	2	点火装置	(後半)									
		(単品)	・点火装置	置の回路全体を理解する								
	2	点火装置	(後半)									
		(実車)	・実車点グ	火装置の整備の習得								
	4	二輪始動装置	(後半)									
			・二輪車の始動装置の構造、機能を理解する									
			・二輪車の始動装置の整備を習得									
	4	二輪点火装置	装置 (後半)									
			・二輪車の	- 二輪車の点火装置の構造、機能を理解する								
			・二輪車の	D点火装置の整備を習得								
	4	二輪充電装置	(後半)									
			・二輪車の	D充電装置の構造、機能を理解	≩する							
			・二輪車の	の充電装置の整備を習得								
			・パーツ・リ	ストの見方								
	4	エンジン	(後半)									
		総合整備	・特定整例	<b>備記録簿に記載されているエンシ</b>	ン整備の	習得						
	2	実習スキル	(後半)									
		チェック	•後期-後	半の実習授業の復習								
	4	エンジン測定・	(後半)									
		整備	・測定作業									
			・エンジン記									
			・エンジン糸									
			・ねじ加工 ・ブロークン・ボルト及びねじ切作業									
			・プローグフ・ハハルト及びねむりが下来									

		 実習						専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備作業	科目		シャシ整備		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・		後期
教科	担当	(二級整備士)		中村 智思	・佐滕 和美	・松沢 高	志·臼居 및	研究開発学科 1年 2也・竹村 敬一郎		
実務約	圣験教員	<u>(一級整備士)</u> <sup>慢授業</sup> 非該当	春原 雄一 総時限	94時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元・期末試験		
 〔授業	概要・		1101 3121	2 1 2 1 2 1	22210.212		F1 147 5724	7.45.02		
			装置につい	て、基本構	造,作動,	機能,名	称の復習と		景を目的とす	 <sup>-</sup> నం
〔授業	の到達	 [目標〕								
各装	き置の!	 ā検,調整,測	定の要領を	習得、定	 期点検(:	L2カ月点村	 ) 導入,	 及び記録簿の記入	要領の習行	<del></del>
シャシ	電装品		構造・作動	か・整備項	目の理解、	電装品の	簡単な点	美と良否判定の習得		
HMS	S E 3 約	<b>投資格取得に向け</b>	 ての習熟 :	 ※整備士とし	しての、心構	え, 基礎矢	□識の習熟の	と、応用作業が実践出	来る基礎の	
〔学習	評価の									
各試	<b>读点数</b>	 の基準、レポート	評価及授	業の取り組	 ]みを総合し	て、「5・	4 · 3 · 2	 · 1 ]の 5 段階で表わ	 す。	
5:	特に成		: 成績良の	もの 3:/	成績普通の	もの 2 :	成績やや		こ劣り、不合	格のもの
各訂	大験点数	数の評価は 5 :	90 ~10	0点 4:	75 ~ 89	点 3:	60 ~ 74	 点		
		(	5 0 点未清	あ場合は	再試験を行	う。尚、再	試験後の	 評価は試験規程によ	る。	
レボ ス)	一トの語	平価は 5:非常	引に優れて	いる 4:	優れている	3:晋	通 2	: やや劣る 1:劣る	(再提出	の必要があ
〔使用	教科	書・教材等〕								
三級国	自動車	整備士(総合)	,電装品	·構造,三	級二輪自	動車,HN	MSE3級,	, テキスト, 他		
				授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限				授	業内容(	項目)			
	4	●授業項目(前	前半)導	入実習						
		日常点検、オイ	ル交換他							
	4	●授業項目(前	前半) A	T 1						
		オートマティック・	トランスミッ	ション構造						
	4	●授業項目(前	前半) A	T 2						
		油圧制御	の理解							
	4	●授業項目(前	半) タイヤ	′復習						
		タイヤ・ホイール整	整備Ⅱ							
		タイヤの取	り外し、取	り付け手川	頂(前期復	[習)				
		タイヤの諸	第元の読み]	取り・サイス	の算出					
		タイヤ・ホー	イールの脱り	着/ホイー川	レ・バランス					
		車載工具	とタイヤ・ホ	イールの点	i検・測定					
	8	●授業項目(前	前半)ブ	レーキ						
		ブレーキ整備I	I							
		フロント・ラ	ディスク・ブレ	/一キ(単	品)	リヤ・ブレー	-キ単品で	の構造,機能復習		
		フロント・ラ	ディスク・ブレ	/-キ (実	車)					

		実習						専門課程	作成月日	25/04	/01
大教	科目	自動車整備作 業	小教科目	\$	シャシ整	经備	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後其	月
				授美	業 計	画 表				Νo.	2
実務経験	標準時限					授業内容(	(項目)				
	4	●授業項目(復	後半) 制	動倍力装置	置						
		制動倍力装置构	構造とPバル	ブ構造							
	4	●授業項目(復	後半) 制	動倍力装置	置の点	 検					
		制動倍力	装置の機	能点検							
	8	●授業項目(復	後半) ホ	イール・アライ	イメント						
		●授業項目(前	前半) ク	ラッチ単品 2							
		使用教材 エン	ジン、トラン	スミッション単	单体						
	4	クラッチの作動点	検と整備								
		クラッチ脱	着(前期征	复習)							
	4	●授業項目(前	前半) (	二輪)リヤ	・サス^	ペンション					
		リア・フォー	ク種類と特	f徴							
	4	●授業項目(復	<b>後半) (</b>	二輪)ディ	スク・ブ	レーキ					
		構造,機	能,整備	法							
	4	●授業項目(征	<b>後半) 1</b>	2ヶ月点検	<b>(</b>	倫)					
		12ヶ月点検	(2輪)								
	4	●授業項目(後	<b>後半)</b> 1	2ヶ月点検	₹ (4	論)					
		12ヶ月定期点	検+日常	点検							
	4	●授業項目(後	半)電装	復習実習	(PW	)					
		復習									
		電圧、電流	流、測定								
		回路の組									
			インド実習の								
	4	●授業項目(後									
			、トランジス								
			、コンデン!								
	4	●授業項目(前				τ)					
		保安装置1(分				ID.)					
	4	●授業項目(前		安装置 2	(計報						
	4	●授業項目(前		火装置1	(単語						
	4	●授業項目(前		火装置 2	(四軸						
	2	●授業項目(後		火装置 3	(2章						
	2	●授業項目(後 ●授業項目(後		火装置4  D-ウンド	(復	<b>∃</b> /					
	2			ワーウインド							
	4	●授業項目(復	女干) 上	アコン							

教	科	白動車	整備作業	科目		二輪車整備	ā	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01
<b>ガ</b> ハ	./ <del>1 -</del> 1	口到干。	<b>正</b> 帰 (	17 CJ		—¥₩∓≖νm	l	<b>メルンド・</b>	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	後期
<b>数</b> 私	担当	春原 雄	_ { (一級	自動車整備:	士)・中村	- 泰史・関根		- 史也・中村 智	当恵	_	_
<b>子</b> X介→		加賀美	直人·細川	正博・福泊	: 第史・谷「	コ 啓・大塚	光善(一組	吸自動車整個	<b></b>		•
実務約	経験教員	<b>員授業</b>	非該当	総時限	9時限	授業方法	実習·実技	評価方法	期末試験		
〔授業	概要・目	_ ]的〕									
* =	.輪車工	ンジン、フ	ルーム、電	選集の各装置	置について、	基本構造と	:整備の理解	解度試験			
_ 〔授業	の到達	目標〕									
* 基	基本構造	- 造と名称(	の習得確認	刃 心							
* 2	\$部品 <i>0</i>	り役割と様	機能の習得	確認							
* ホ	ンダ2輌	ーーニー	ー くエンジニア	ΉMSΕσ	)基礎習得	確認					
〔学習	評価の	基準〕									
各試懸	負点数の	D基準、L	ノポート評値	西及授業の	取り組みを	総合して、「	5 · 4 · 3	- 2・1 ]の 5	5段階で表わす。		
5:	特に成	績優秀な	なもの 4	: 成績良の	もの 3:/	成績普通の	もの 2	: 成績やや:	劣るもの 1:成績特に	こ劣り、不合	格のもの
各試	験点数	スの評価(	ま 5:90	0~100点	4:75	~ 89点 :	3:60~	74点			
			6 0	点未満の場	合は再試	験を行う。片	5、再試験	後の評価は	試験規程による。		
〔使用	教科書	·教材等	F)								
3級二	 _輪自重	 勘車、ホン	 ンダHMS	E3級テキ	 スト (二輪	i)、電卓 					
											No. 1
実務経験	標準時限					授	受業内容	(項目)			
	8	二輪授	業全般の総	総復習							
	1	二輪授	業全般復	習 、ホンダ	2 輪サービ	スエンジニア	HMSE	D復習			

								専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	一般	科目	!	安全運転学	!	対象級	サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	通期
教科	担当	(二級整備士) 中村					i史 臼居 史也・ケ		•	
実務網	圣験教員		総時限		授業方法	講義		קבו אני ניינ		
〔授業	概要・	目的〕								
・自動	車業界	早の一員であること	とを自覚し、	規律の大	切さと他人	との協訓	を養う。			
・安全	運転の	)思想『人間尊重	』を学ぶ。							
〔授業	の到達	目標〕								
① 妄	全運轉	伝を中心に実施す	するが、整備	請時の安全	こだ対する耶	双り組みる	で広げて理	解させる		
これ	ารเระ	り、交通社会にお	いて安全	運転の実置	浅のみならず	<b>ず、</b>				
職	場(具	具体的には整備作	<b>≡業)での</b> 5	安全作業的	能力を養う	0				
〔学習	評価の	)基準〕								
評価な	¥U									
〔使用	教科書	書・教材等〕								
HONI	DA危险	検予測トレーニン:	グ(KYT)							
セーフ	ティ・ラ	イディング、セーフ	ティー・ドライ	イビング						
実地記	川練、村	甬川レインボーモ-	-タースクー	ル						
				授	業計画	〕表				No. 1
実務経験	標準時限				授	業内容	(項目)			
	8	①四輪安全運轉	<b>広講習</b>							
		桶川レインボーモ	ータースク-	-ルにて実	施					
		交通教育センタ・	ーもてぎ							
	4	KYT(危険	予知トレーニ	ニング) I			•危険予約	印のトレーニング		
		<ul><li>■三つのご</li></ul>	フラグ				・グループ	による討議/発表		
			・前心配と	後心配						
	2	安全運転学					①Honda	が交通安全に取り組む	理由	
							②これまで	の歴史		
							③いま皆さ	んに求められていること		
							④車両を排	及う心構え		
							⑤課題			
l										

								<u> </u>	専門課程	作成月日	25/04/01
教	:科		一般	科目		接客実務		対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・	開講期	<u>通期</u>
粉彩	 担当	(二刹	攻整備士):	加賀美 直ん	人·関根 健	・細川 止博	引温泊 篤	史	研究開発学科 1年		
	圣験教員	5 哲学	中村 : 非該当	泰史·中村 総時限		和美・松注 授業方法			<u> </u>		
	概要・		非談当	松吋阪	IO时底	<b>拉耒</b> 万法	舑 我	評価方法			
			/~レの音爪	土を1田422→-	H +1/1√7	スプランに結	7 K/ <del>-1</del> 1+Z				
			、  、興味をも			ヘノ ノン(こ下ロ	เดแกเล	0			
	の到達			にほるように	-900						
				フナルも白	.1-1-11-	-7					
			必要となる  				~/++4+3	,			
						ナーを身に		)			
						)基本を理	件9つ。 ———				
			ン能力の向	」上で凶る。							
	評価の	)	J								
評価な	よし										
·	・ナル・ナリコ	- +/ <b>-</b> 1									
	教科 <b> </b>			- · <del></del>	±\m						
専科体	开修新	人サー	・ビススタッフ	の基礎と弦			- <del>-</del>			-	_
						業計画		·\			No. 1
実務経験	標準時限					技	業内容				
	1	1	HONDA	の企業活動	th .			・企業が何	可を基本として活動し	τ	
			HONDA	の基本理念	え (自立・	平等·信賴	į)	いるか、H	ONDA、HONDA関	連企業	
			及び社是	・運営方針	十・企業活動	動		を例に理解	解を深める		
		2	企業の利	益とは				・販売店の	の利益とは何か		
			販売店様	の利益				販売店の	利益確保のために接	遇が	
			利益の追	求と確保				いかに大t	刃かを知る		
	1	1	接遇の基	本1				·自己分	折を行い、本当に自分	分が	
			自己認識	の重要性				就きたいた	上事は何かを理解・認	認識	
			自分の強	み、性格、	タイプを知る	<b>პ</b>		する。 Gr. (	こなり自分の事を他の	)	
			自己紹介	と他己紹介	$\uparrow$			クラスメー	トからGr.に紹介する。		
			接遇の基	本の1つで	ある傾聴の	スキル					
	1	1	仕事に対	する興味と	価値観			・自分がる	と当にやりたい事は何	か	
			各自の興	味と価値観	見を洗い出	す		やりたい事	が仕事にどう結びつく	か。	

								専門課程	作成月日	25/04/01			
教科		一般	科目		実践自動車整備			サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	<u>通期</u>			
教科	教科担当 (二級整備士) 加賀美 直人中村 泰史·中村 智								_				
*****  ****  ****  ***  ***  ***  **													
〔授業	授業概要·目的〕												
自動車	自動車整備士の役割、社会的使命とコンプライアンスを理解する												
タイヤ空気充てん作業特別教育の受講													
〔授業の到達目標〕													
●コンプライアンス													
・各八	ラスメン	小を理解してる											
·交通	事故、	交通違反がない	١										
・3級	整備士	上程度の道路運	送車両法を	理解してい	いる								
<b>●</b> [9-	イヤ空気	気充てん作業」											
・「タイ	ヤ空気	充てん作業」の特別で	寺別教育が	終了してい	いる								
〔学習	評価の	)基準〕											
評価な	 評価なし												
〔使用	教科書	書・教材等〕											
ホンダ学園キャンパスガイド、図解3級法令、タイヤ充填テキスト													
				授	業計画	表				No. 1			
実務経験	標準時限				授	業内容	(項目)						
	1	2●自動車整備	●自動車整備士の使命2_自動車整備士としての心構え										
		学園生活をして	学園生活をしていくうえで必要なルールと、基本的な社会人基礎力に必要な内容を理解する										
		服装、身	服装、身だしなみ、言葉使い										
		時間意識	战 (時間管	理、ウォー:	ニングシステ	신)							
		コンプライ	コンプライアンス理解(法令遵守、学則遵守)										
		3 Sの徹	3 Sの徹底										
	1	20●個人情報保護法個人情報とは、取扱いルール											
		学則説明_肖像権・著作権・商標権・個人情報											
		SNS モラルとマナー											
		SNS モラルとマナー											
		10●道路交通	10●道路交通法 1安全運転・ヒヤリハット										
		安全運転	学(KYT	)の中で、	再度指導								
1													

大教科目		一般	小教科目	実践自動車整備	対象級	専門課程 サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・	作成月日開講期	25/04,				
						研究開発学科 1年	נאלפונוען	<u>//E#/)</u>				
	授業計画表								2			
実務経験	標準時限	授業内容(項目)										
	1	.5●刑法1薬物、盗難、闇バイト、時事ニュース、留学生犯罪										
		賞罰規程 別表 2 学則違反の内容と罰の運用例										
		(1) 道路交通に関して極めて好ましくない行為があったとき										
		(2) 麻薬、覚醒剤、賭博などを行い、またはこれら該当物を携帯した										
		(3) 学校教具・機器材または、他人の所有物を横領・窃盗したとき										
		(6)社	会秩序に	関し、極めて好ましくない行為が	あったとき							
	1	11●道路交通	法2交证	通違反(違反、速度超過)免	停、取消、	欠格期間						
		賞罰規程	別表3	。 交通違反と事故の内容と罰の	D運用例							
		運転免許	の重要性									
		※本校は	、交通機関	見にたずさわる関係上、特に厳し	<b>人処罰する</b>	, ,						
		死亡事故	!	酒酔い運	酒酔い運転							
		重症事故	[	速度超過	速度超過							
		軽傷事故	[	無免許運	無免許運転							
		被害者		違反点数	違反点数							
		加害者		その他の道	その他の違反							
		人身事故	Ţ									
		物損事故										
	1	13●道路交通法4交通事故を起こすと										
		賞罰規程	□別表3	交通違反と事故の内容と罰の違	重用例							
		二輪車乗	車中死者	の損傷主部位(構成率)								
		胸部プロラ	テクター着月	月のお願い								
		過失割合	ì									
		「自転車災	重転者講習	引制度について								
	1	14●自動車保障										
		自転車損	害保険等	への加入義務について								
		高額賠償	事例									
		本校の学生による事故事例										
		過失割合										
		「自転車運転者講習」制度について										

大教科目		一般	小粉料口	中唯白動市軟件	<del>小</del> 台尔	専門課程 サービスエンジニア学科・	作成月日	25/04/01			
人 叙	竹日	一切又	小教科目	実践自動車整備	対象級	一級自動車整備学科・ 研究開発学科 1年	開講期	<u>通期</u>			
			授業計画表								
実務経験	標準時限	授業内容(項目)									
	1	9●道路運送車両法 5保安基準・不正改造									
		通学車両及び寮生車両許可									
		道路運送車両法の保安基準、近接排気騒音の規制値									
		近接排気騒音の規制値									
		装備品について									
	18●ハラスメント1ハラスメントとは、防止に向けて										
				の内容が入っている							
		人か个快	と思うことは	、行わない							
	1	1 ● 白動車整備	十の使命								
				工口到十正開工COCの任	נום אונים צ						
		夢の実現 資格の重要性について									
		「自動車整備士」の資格が必要とされる職業に関して									
		整備士の資格が必要な理由									
	1	16●刑法 2薬物、盗難、闇バイト、時事ニュース、留学生犯罪									
		薬剤師による、薬物に関する講話									
	1 19●ハラスメント2_パワハラ、セクハラ等										
	後期スタート										
	ハラスメントについて再徹底										
	17●刑法3_薬物、盗難、闇バイト、時事ニュース、留学生犯罪										
	後期スタート										
		刑法について再徹底									
	1 1 ● 労働空令衛生担則第36名「柱則教育も必要レオス要数」「ケノとの空气方で」要数!										
1 1 ●労働安全衛生規則第36条「特別教育を必要とする業務」「タイヤの空気充てん業務」  外部講師による「特別教育と 空気充てん時における事故防止VTR											
		外部講師による「特別教育 子 空気允(ん時における事故防止VIR									
	1										
	_				~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	. , , , -,					
		外部講師による「特別教育}									

		学科	斗 101						専門課程		作成月日	25/04/01	
教	科	自動車工学		科目	自動車総論Ⅱ				対象級	サービスエンジ 一級自動車勢 研究開発学科	を備学科・	開講期	前期
教科	田出	駒崎勝紀・木野内英和・渡部孝昭・塩川楓・河智是明・大石尚輝											
37A17		・浅井	直道(-	一級自動	車整備士	)前田優	佐・原	<b>龙松</b>	樹生・小り	幸雄・君	塚真之	.佑	
実務経	Z験教員	授業	非該当	総時限	17	授業方法	講	義	評価方法	学科試験			
〔授業	概要・	目的〕											
・二級	・二級自動車整備士(総合)試験の2級、3級に出題される総論・工学の計算問題を解けるようになる。												
〔授業の到達目標〕													
・出題される計算問題(総論・工学)を理解し、問題を解く知識を身につける。													
・計算問題を解くための単位・公式を覚え、計算問題方法を理解する。													
〔学習													
・試験	点数の	)評価(	J 5 : 90	0 ~100点	ā 4:75	。~ 89点	3 :	: 60	~ 74点				
・学科	試験σ	点数な	が60点未満	満の場合は	再試験を	行う。尚、蔣	<b>手試</b> 馬	6後0	D評価は註	(験規程によ	る。		
〔使用													
・計算	・計算を解くノウハウ(整研出版社)、パワーポイント資料、プリント資料、i-Pad												
					授	業計画	表						No.1
実務経験	標準時限					授	業内	容(	項目)				
	2	■自重	助車総論 ]	[	SI単位と	 用語、荷重	の計	算 I					
	2	■自重	b車総論 I	I	荷重の計算	算Ⅱ、圧力	っの計	算					
	2	■自重	助車総論Ⅰ	I	ギヤ比の記	†算							
	2	■自重	协車総論Ⅰ	٧	性能曲線	の計算Ⅰ、	性能	曲網	別の計算 Ⅱ				
	2	■自重	协車総論 \	/	走行性能	の計算							
	2	■自重	助車総論V	I	トルクの計	算、排気量	量関係	系の計	算				
	2	■自重	助車総論V	I	電気の計算	算、基礎工	学の	復習					
	2	■自重	助車総論	総復習	STEP 1 カ	STEP 7	'まで(	の問題	題を総合復	習			
	1 ■自動車総論試験 STEP1からSTEP7までの理解度を確認する												
						-							

				•										
	_	学科	斗 101							専門課程	- 27 47	作成月日	25/04/01	
教	科	自動	車工学	科目	応用	パワーユニ	ット 1		対象級	サービスエン語	ジニア学科・ 整備学科・	開講期	前期	
		肝力小大豆	<b>*</b> ↓ ¬ <b>.</b> ⊢ □	BY H # 10	∴应力7. <del>=2</del> .0	7 4=111+6	1 242 -	H	·¥ / <b>ν</b> τ	研究開発学				
教科	担当			野内英和	· 波部李崎	召・塩川種	∜浅₹	开追	迫(一級	₹目動卑₹	を (インドン・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・			
		1	真之佑		-	-								
	圣験教員 		非該当	総時限	26	授業方法	講	義	評価方法		期末試験			
		目的)		<i>(</i> = <i></i>							- "			
ガソリン	ン・エン	ジンの名	3装置( <u>3</u>	二級自動車	P整備士 ————	(総合) の	エンジ	ン領	域)の構造	造·機能及 ————	び電気装	置の仕組る	かを理解する	
		目標〕												
				ブ機構)の										
・各装	置(清	<b>閏滑、冷</b>	却、燃料	4、点火、9	排気)の	構造、役割	割を理	解す	<sup>-</sup> る。					
・電気	装置、	電子制	川御の役割	削、機能を理	里解する。 									
〔学習	評価の	)基準〕												
・試験	点数0	)評価に	5:9	0 ~100点	1 4:75	5 ~ 89点	3	: 60	~ 74点					
・学科	学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。													
・学科	試験0	D点数加	が60点~	69点の場合	合は特別再	試験を行	う。							
〔使用	教科書	書・教材	等〕											
二級目	動車	整備士	(総合)	【日本自	動車整備抵	<b>辰興会連合</b>	合会]、	、パワ	ノーポイント	資料、i-Pa	ad			
					授	業計画	表						No.1	
実務経験	標準時限					授	業内	容(	項目)					
	4	応用P	)1(学科	斗) 1	エンジン総	:論、エンジ	ン本体	本、ハ	いブ機構の	の構造・役	割			
	4	応用P	91(学科	斗) 2	潤滑装置	、冷却装置	置の構	造•	役割					
	4	応用F	91(学科	斗) 3	燃料装置	、点火装品	置、吸	排気	装置の構	造·役割				
	4	応用F	9 1 (学科	斗) 4	半導体、	バッテリの様	造·後	设割						
	4	応用F	9 1 (学科	斗) 5	電子制御	の構造・役	割・樹	幾能						
	4	応用F	71 (学和	斗) 6	始動装置	、充電装置	置の構	造·	役割					
	2	応用F	9 1 (学科	斗) 7	STEP 1 t	からSTEP 6	5まで(	の問題	題を総合復	習				

		学科	¥ 10	)1						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	自動	車工	学	科目	応用	パワーユニッ	yト2	対象級	サービスエンジー級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期
教科	五年	駒崎胴	券紀	・木野	内英和	渡部孝明	召·塩川楓	・浅井直	道(一級	自動車整	経備士)		
<del>3</del> 21 <del>1</del>	ᄪᆿ	君塚真	真之·	佑									
実務網	圣験教員	授業	非談	亥当	総時限	20	授業方法	講義	評価方法		期末試験		
〔授業	概要・	目的〕											
ガソリン	ン、ジー	ゼル・コ	ンジ	ン及び	バイブリッ	ド自動車の	)各装置(	二級自動	車整備士	(総合))	の機能・	構造及び	仕組みを理解
〔授業	の到達	目標〕											
・ガソリ	ン・エン	ンジンの	機能	、構造	き、排気ガ	ス対策等の	の仕組みを	理解する。	ı				
・ジーも	ヹル・エ	ンジンの	機能	能、構造	造、排気	ガス対策等	の仕組みな	を理解する	10				
・ハイン	ブリッド国	車及び電	電気	自動車	■の機能、	構造を理	解する。						
〔学習	評価の	)基準〕											
・試験	点数の	評価に	‡ 5	: 90	~100点	ā 4:75	5 ~ 89点	3:60	~ 74点				
·学科	試験の	点数加	Ñ60,	点未満	あ場合は	再試験を	 行う。尚、Ā	 再試験後の	の評価は試	験規程に	よる。		
·学科	試験の	点数力	Ñ60,	点~69	9点の場合	合は特別再	言試験を行	う。					
〔使用	教科書	₫·教材	等〕										
二級目	自動車	整備士	(総	(合)	【日本自動	動車整備技		 A会】、パワ	リーポイント	———— 資料、i-Pa	d		
							業 計 画						No.1
実務経験	標準時限							業内容(	項目)			<u>_</u>	
	4	応用F	2	(学科	.) 1	予熱装置	、吸排気数		  装置の機	 能·構造			
	4	応用F	2	(学科	.) 2	燃料、潤	骨油の機能	·役割					
	4	応用F	2	(学科	.) 3	ガソリンエン	ンジン排気	ガス対策、	ジーゼルエ	ンジン排気	ガス対策の	の機能・構	造·役割
	4		2	(学科	.) 4	ガソリンエン	ンジン故障	原因探求	、ジーゼルコ	エンジン故障	章原因探察	······································	
	2	 応用 P	2	(学科	.) 5	ハイブリット	··· 自動車及	び電気自	動車の機能	 能•構造			
	2	 応用 P	2	(学科	.) 6	STEP 1 t	からSTEP 4	までの問題	題を総合復	2000年			

		学和	斗 101						専門課程	>" — <del> </del>	作成月日	25/04/01
教	科	自動	車工学	科目		応用シャシ	,	対象級	サービスエン: 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期
教科	担当	河智	是明・大石	与尚輝・き	井直道	(一級自	動車整備	士)			-	
<del>1</del> 2111	12-3	前田伯	憂佑・成材	公樹生・リ	川 幸雄							
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	26	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕										
車両の	)保安	基準遃	i合性や車	両の動力の	云達等(2	二級自動車	車整備士	(総合) の	シャシ領域	は) の構造	、機能、作	動を理解す
〔授業	の到達	目標)										
・走行	抵抗と	駆動力	」、駆動力	と走行性能	能の関係	動力伝達	主装置の概	腰、構造	・機能の理	解		
・アクス	マル・サ.	スペンシ	<b>コン、ステ</b>	アリング装置	置、ホイール	レ及びタイヤ	7及びホイー	-ル・アライン	メントの概要	要、構造・棒	幾能の理解	7
定軍・	装置、											
・保安	基準道											
〔学習	評価の	)基準〕										
・試験	点数0	)評価(	よ 5:90	0 ~100点	ኳ 4 : 7!	5 ~ 89点	3:60	~ 74点				
・学科	試験∂	う点数が	が60点未満	満の場合(	は再試験を	行う。尚、	再試験後の	D評価は試	験規程に	よる。		
・学科	試験ℓ	D点数加	が60点~6	59点の場合	合は特別科	<b>耳試験を行</b>	<del>-</del> う。					
〔使用	教科書	書・教材	<b>排</b> 〕									
二級目	自動車	整備士	- (総合)	【日本自	動車整備技	振興会連6	合会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	ad		
					授	業計画	画 表					No.1
実務経験	標準時限					授	受業内容(	項目)				
	4	応用(	C (学科)	1	総論、保	安基準適高	合性確保の	)点検 I	(12か月点	(検)		
	4	応用(	C (学科)	2	動力伝達	装置I(	クラッチ・遊	<b>大車</b>	AT)			
	4	応用(	C (学科)	3	動力伝達	装置Ⅱ	(CVT·差	動装置・二	輪関係)	、電気装置	置(多重)	通信)
	4	応用(	C (学科)	4	アクスル及	なびサスペン	ション、電	気装置(	安全装置)	)		
	4	応用(	C (学科)	5	ホイール及	とびタイヤ						
	4	応用(	C (学科)	6	ステアリング	グ装置、ス	キャン・ツー	ル、電気装	造(計器	<del>}</del> )		
	2	応用(	C (学科)	7	STEP 1 t	からSTEP (	5までの問題	題を総合復	習			

		1		ı					ı			
		学科	斗 102				_		専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	自動	車整備	科目	総合	うパワーユニ	ニット	対象級	サービスエンジー級自動車研究開発学	整備学科・	開講期	後期
*****	4E VI	駒崎朋	券紀・木野	内英和·源	部孝昭・	塩川楓・浅	井直道(	一級自動	車整備士	)	<u>-</u>	
教科	担当	君塚真	真之佑									
実務終	圣験教員	員授業	非該当	総時限	18	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕										
で電・	自動車	車の整体	 備業務及(	ゾHonda重	車の電子制	l御装置、H	HYBRIDS	レステムの格	機能、構造	、役割を理	里解する。	
〔授業	の到達	<b>達目標</b> )	1									
定雷·	装置0	D基本E	的な知識と	電圧点検	要領を理解	解する。						
·HDS	5(外音	部診断	機)、電	子サービス	マニュアルの	基本的な	幾能と操作	F要領を身	につける。			
	ジンシス まにつけ		構造、機能	能、作動を	理解すると	ともに、基本	本点検作	業、自己診	断機能に	よる点検、	構成部品	の脱着要
			 の構造、様		を理解する	とともに高い	電圧回路	整備全般(	こついての矢	 □識を身に	つける。	
			- 113721 117				<u> </u>					
〔学習	評価の	D基準)	J									
・試験	点数0	D評価(	よ 5:90	0 ~100 <sub>5</sub>	ኳ 4:75	5 ~ 89点	3:60	~ 74点				
•学科	試験0	D点数	が60点未活	満の場合(	は再試験を	行う。尚、暮	再試験後の	の評価は試	ば験規程に	よる。		
・学科	試験0	D点数	が60点~6	59点の場合	合は特別再	<b>耳試験を行</b>	う。					
〔使用	教科	書·教林	<b>持</b> 〕									
二級目	自動車	整備士	- (総合)	【日本自	動車整備技	振興会連合	会】、パワ	ノーポイント	資料、i-Pa	nd		
電気目	自動車	等の整	『備業務に	おける特別	教育テキ	スト、HAS	Γ SE3級	(ハード編)	) テキスト			
					授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限					授	業内容(	項目)				
	4	総合日	P (学科)	1	電気自動	車等の整備	備業務にお	らける特別:	教育			
	4	総合日	P (学科)	2	電気装置	の基本、テ	スタの知識	哉、HDSの	知識、電子	ヹ゚サービスフ	アニュアル	
	4	総合日	P (学科)	3	PGM-FI	(センサ、フ	クチュエー	タ)、VTE	EC、アイドリ	ングストップ	Ĵ	
	4	総合日	P (学科)	4	HYBRID	システム(	Hondaハ	イブリッドシ	ステムの構	造·機能·	制御)	
	2	総合日	P (学科)	5	STEP 1 t	からSTEP 4	までの問題	題を総合復	复習			

		学科	斗 102						専門課程	作成月日	25/04/01
教	科	自動	車整備	科目		総合シャシ	,	対象級	サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 2年	開講期	後期
******	MI 114	河智是	是明・大石	尚輝・浅井	‡直道(-	-級自動車	整備士)		<u> </u>	•	
教科	世当	前田信	憂佑・成松	樹生・小川	幸雄						
実務経	<b>E験教員</b>	員授業	非該当	総時限	18	授業方法	講義	評価方法	学科試験 元·期末試	験	
〔授業	概要・	目的〕			•			•			ı
Hond	a車の	ミッショ	ン、シャシ針	支置、補器	類の機能、	、構造、作	動を理解す	する。			
〔授業	の到達	<b>建目標</b> )	)								
·Hone	da車の	の安全	装置、基本	ト性能を支	援する運転		テムの構成		作動を理解する。		
·Hone	da車の	の基本	点検作業	、自己診断	<b>が機能によ</b> る	る点検、構	成部品の	脱着要領	を身につける。		
·Hone	da車の	のシャシ	領域のシ	ステム全般	の構造、機	態能、作動	を理解する	, )。			
〔学習	評価の	D基準)	)								
・試験	点数0	D評価(	<b>ま 5:9</b>	0 ~100 <sub>5</sub>	5 4:75	5 ~ 89点	3:60	~ 74点			
・学科	試験0	D点数	が60点未活	満の場合は	は再試験を	行う。尚、	再試験後の	の評価は試	<b>ボ験規程による。</b>		
・学科	試験0	D点数	が60点~(	69点の場合	合は特別再	言試験を行	う。				
〔使用	教科書	書·教林	(等)								
二級自	動車	整備士	- (総合)	【日本自	動車整備技	辰興会連 <b>合</b>	合会】、パワ	<b>フーポイント</b>	資料、i-Pad		
HAST	SE3	級(ハ	(ード編) <del>-</del>	テキスト							
					授	業計画	表				No.1
実務経験	標準時限					授	<b>愛業内容(</b>	項目)			
	4	総合(	(学) 1		4 WDシ	ステム、SR	Sエアバック	「システム、	多重通信		
	4	総合(	(学) 2	•	CVT, DC	T、Hond	aスマートキ	システ <i>L</i>	7		
	2	総合(	) (学) 3		電動パワ-	-ステアリン	グ、VSA、	振動·騒音	<b></b>		
	2	総合(	)(学) 4		オートエア	コン、電動	サーボブレ	ーキシステム	ム、EPB		
	1	総合(	(学) 5	; 	STEP 1 t	からSTEP	4までの問	題を総合復	复習		

		学科	斗 102						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	自動	車整備	科目	ŧ	ビリティ技術	ប៊ែ	対象級	サービスエン: 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期
おかてい	+□ <b>1</b> V	駒崎原	勝紀・木野	5内英和	渡部孝明	召·塩川楓	・河智是	明·大石i	_		一級自動	車整備士)
教科		前田伯	憂佑・成材	公樹生・기	川 幸雄	•君塚真之	と佑					
実務終	圣験教員	授業	該当	総時限	6	授業方法	講義	評価方法				
〔授業	概要・	目的〕										
·Hon	daの耳	なり組ん	でいる活動	動、最新技	術、運転	支援システ	ムなどを理	解する。				
〔授業	の到達	目標〕										
・運転	支援シ	ノステム	(Honda	SENSIN	G)の機能	能、構造、化	乍動を理解	弾する。				
·Hon	daで耳	切組む	SDV (S	oftware	Defined \	Vehicle)	について理	解する。				
〔学習	評価の	)基準〕										
〔使用	教科書	書・教材	<b>持</b> 〕									
パワー	ポイント	資料、	i-Pad、酉	记布資料								
					授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限					授	業内容(	項目)				
0	3	M技術	ijС		運転支援	システム	Honda	a SEN	ISING	ì		
					(Honda	SENSIN	IGの機能・	構造の理	解)			
0	3	M技術	ijС		SDV (So	oftware [	Defined \	/ehicle)	の機能・構	造		
					SDVについ	ハて考える	(思考授業	業)				
					<u> </u>							

自動車検査
新田優佑・成松樹生・小川 幸雄   東務経験教貞授業   非該   総時限   13   授業方法   講 義   評価方法   学科試験   期末試験   開末試験   保安業概要・目的   単面の保安基準適合性、ブレーキ装置、電気装置等(二級自動車整備士(総合)のシャラ領域)の構造、機能、作動を   保安基準適合性確保の点検(24カ月点検、検査関係)を理解する。 ・ブレーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 ・ブレーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 ・グトーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 ・グトーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 ・グトーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 ・グキ技能験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点へ69点の場合は特別再試験を行う。。 ・学科試験の点数が60点へ69点の場合は特別再試験を行う。 「使用教科書・教材等) 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad   HAST SE 3 級 (ハード編) テキスト
前田優佑・成松樹生・小川  幸雄   実務経験教員授業   非該当   総時限   13   授業方法   講 義   評価方法   学科試験   期末試験   伊藤   伊藤   伊藤   伊藤   伊藤   伊藤   伊藤   伊
【授業概要・目的】 車両の保安基準適合性、ブレーキ装置、電気装置等(二級自動車整備士(総合)のシャシ領域)の構造、機能、作動を 【授業の到達目標】 ・保安基準適合性確保の点検(24カ月点検、検査関係)を理解する。 ・プレーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 ・プレーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。  (学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  (使用教科書・教材等) 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3級(ハード編)テキスト
車両の保安基準適合性、ブレーキ装置、電気装置等(二級自動車整備士(総合)のシャシ領域)の構造、機能、作動を (授業の到達目標) ・保安基準適合性確保の点検(24カ月点検、検査関係)を理解する。 ・ブレーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。 (学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。 (使用教科書・教材等) 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad HAST SE 3級(ハード編)テキスト
・保安基準適合性確保の点検 (24カ月点検、検査関係) を理解する。 ・ブレーキ装置 (エア・ブレーキ、電子制御、補助等) の構造、作動を理解する。  (学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点へ69点の場合は特別再試験を行う。  (使用教科書・教材等)  二級自動車整備士 (総合) [日本自動車整備振興会連合会]、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3級 (ハード編) テキスト
・保安基準適合性確保の点検 (24カ月点検、検査関係) を理解する。 ・ブレーキ装置 (エア・ブレーキ、電子制御、補助等) の構造、作動を理解する。  (学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点へ69点の場合は特別再試験を行う。  (使用教科書・教材等)  二級自動車整備士 (総合) [日本自動車整備振興会連合会]、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3級 (ハード編) テキスト
・保安基準適合性確保の点検 (24カ月点検、検査関係) を理解する。 ・ブレーキ装置 (エア・ブレーキ、電子制御、補助等) の構造、作動を理解する。  (学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点へ69点の場合は特別再試験を行う。  (使用教科書・教材等)  二級自動車整備士 (総合) [日本自動車整備振興会連合会]、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3級 (ハード編) テキスト
・ブレーキ装置(エア・ブレーキ、電子制御、補助等)の構造、作動を理解する。  (学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  (使用教科書・教材等)  二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE3級(ハード編)テキスト
(学習評価の基準) ・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。 (使用教科書・教材等) 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad HAST SE3級 (ハード編) テキスト
・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3 級 (ハード編) テキスト
・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3 級 (ハード編) テキスト
・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3 級 (ハード編) テキスト
・試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点 ・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3 級 (ハード編) テキスト
・学科試験の点数が60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。 ・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  〔使用教科書・教材等〕  二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE3級(ハード編)テキスト
・学科試験の点数が60点~69点の場合は特別再試験を行う。  〔使用教科書・教材等〕  二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad  HAST SE 3 級(ハード編)テキスト
〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad HAST SE 3 級(ハード編)テキスト
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad HAST SE 3 級(ハード編)テキスト
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad HAST SE 3 級(ハード編)テキスト
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad HAST SE 3 級(ハード編)テキスト
HAST SE 3 級(ハード編)テキスト
授業計画表 No.1
実務経験 標準時限 授業内容(項目)
4 ■検査(学科) 1 保安基準適合性確保の点検 II (24カ月点検)、先進安全技術
4 ■検査(学科) 2 保安基準適合性確保の点検Ⅲ(検査関係)、警報装置
2 ■検査(学科)3 ブレーキ装置 I (エア・ブレーキ)、製図
2       ■検査(学科) 3       ブレーキ装置 I (エア・ブレーキ)、製図         2       ■検査(学科) 4       ブレーキ装置 II (電子制御・補助)、フレーム及びボデー
2 ■検査(学科) 4 ブレーキ装置 II (電子制御・補助)、フレーム及びボデー
2  ■検査(学科)3
2 ■検査(学科) 4 ブレーキ装置 II (電子制御・補助)、フレーム及びボデー
2 ■検査(学科) 4 ブレーキ装置 II (電子制御・補助)、フレーム及びボデー
2 ■検査 (学科) 4 ブレーキ装置 II (電子制御・補助)、フレーム及びボデー

		学科 105						専門課程		作成月日	######
教	科	自動車整備に 関する法規	科目	Ē	自動車法規	₹	対象級	サービスエン: 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	前期
おわばい	+D 7K	駒崎勝紀・木野	内英和·源	ままり きょうりょう きょう きょう きゅう きゅう かいしょう まんしん まんしん はいしょ しゅう はい しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	塩川楓・河	智是明・	大石尚輝・	-		動車整備	±)
教科	担当	前田優佑·成松	樹生・小川	幸雄・君	塚真之佑						
実務網	Z験教員	損授業 非該当	総時限	11	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験		
〔授業	概要・	目的〕								•	
・自動	車整備	- 開士に必要な法規	見(道路道	送車両法	、道路運	送車両法	の保安基準	き) を理解	し、実践で	きるように	なる。
〔授業	の到達	目標〕									
・自動	車整備	- 第士として業務を第	実施する上	で関係する	る法令を理	解する。					
·教科	書の内	容、用語などを実	<b>『車写真</b> 及	ひ過去問	をもとに理	解する。					
〔学習	評価の	)基準〕									
・試験	点数の	 )評価は 5:90	) ∼100⊭	ā 4:75	5 ~ 89点	3:60	~ 74点				
·学科	試験の	 )点数が60点未消	端の場合は	再試験を	 行う。尚、Ā	再試験後	の評価は註		よる。		
〔使用	教科書	書·教材等〕									
法令教	数材【2		-ポイント資	科、i-Pac	<u> </u>						
				授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限				授	業内容	(項目)				
	1	 法規 I		1. 自動	車の種類	2. 登	录制度				
	1	法規Ⅱ		3. 保安	基準 4.	点検整	備制度				
	1	法規Ⅲ		5. 検査	制度 6.	認証制	度				
	1	法規Ⅳ		7. 指定	制度 8.	その他					
	1	法規V		『I 車両	法』の総合	復習					
	1	 法規VI		1. 自動	車の構造	2. 自	動車の装置	(原動機	及びシャシ	関係)	
	1	 法規 <b>Ⅵ</b>		3. 自動	車の装置	(車体関	係) 4.	自動車の	装置(公	害防止関係	係)
	1	法規Ⅷ		5. 自動	車の装置	(灯火関	係) 6.	自動車の	装置(運	転操作)	
	1	法規IX		7. 緊急	自動車等						
	1	法規X		『Ⅱ 保安	基準』の総	合復習					
	1	自動車法規 試	験	STEP 1 t	いらSTEP 1	0までの	理解度を研	確認する			

		<b>—</b>								l					
老	科	実習 203	科目	広田	パローコー	wk 1	対象級	専門課程サービスエン	ジェア学科・	作成月日	25/04/01				
30	1 <del>1</del>	一級自動車整備学科・ 開講期 前期 研究開発学科 2年   開講期 前期 研究開発学科 2年   開講期 前期 研究開発学科 2年   開講期 前期 対													
#L T.U	10 V/	駒崎勝紀・木野	野内英和	•渡部孝明	召·塩川梅	・浅井直	道(一級								
教科	担当	君塚真之佑													
実務約	圣験教員	<b>員授業</b> 該当	総時限	26	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	元·期末試	レポート評価	<b>T</b> i				
〔授業	概要・	目的〕													
・エンシ	ジン領地	域の各装置につい	て、構造、	機能、整体	備作業につ	いて実習を	を通じて理	解度を高め	る。						
〔授業	の到達	目標〕													
·HDS	5(外音	部診断機)の操作	作方法を理	異解し、操作	作ができる。	ようになる。									
・オシロ	コスコー	プの操作方法をす	理解し、セ	ンサ、アクチ	ユエータの	波形を読め	<b>めるようにな</b>	る。							
・直列	3気筒	i(E07)のタイミ	シグベルト	の脱着作業	業が指定時	間内に実	施できるよ	うになる。							
で電・	装置、	点火装置の電気	えの流れ、電	電圧の有無	まを推測し	則定に相違	えが無いよう	うになる。 -							
〔学習	評価の	)基準〕													
・試験	点数0	)基準、レポート部	平価及授業	美の取り組み	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	t.					
・レポ-	-トの評	平価:5:非常(	こ優れてい	る 4:優	見れている	3:普 j	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある				
・試験	点数0	)評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。															
〔使用	教科書	書・教材等〕													
二級国	自動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備技	辰興会連 <b>合</b>	合会】、パワ	ノーポイント	資料、i-Pa	ad、電子モ	ジュールシ	·				
				授	業計画	表					No.1				
実務経験	標準時限				-	受業内容(									
0		実応 P 1 – 1				進め方、注									
0	4	実応 P 1 – 2		外部診断	機(HDS	5) の機能、	、操作方法	<u> </u>							
0	4	実応 P 1 – 3		オシロスコ	ープの操作	方法、冷热	切装置の構	ちょう 機能・	・電気回路	の理解					
0	4	実応 P 1 – 4				ングベルト肌									
0	-	実応 P 1 – 5				/グベルト肪				Ē ———					
0		実応 P 1 – 6		点火装置	の機能・精	<b>造の理解</b>	、実車での	測定作業							
0	2	実応 P 1 – 7		STEP 1 t	からSTEP 6	5までの授	業内容を終	総合復習							

		実習 203						専門課程		作成月日	25/04/01			
教	科	自動車整備作 業	科目	応用	パワーユニッ	ット2	対象級 サービスエンジニア学科・ 一級自動車整備学科・ 開講期 前期 研究開発学科 2年 道 (一級自動車整備士)							
教科	<del>1</del> □ 114	駒崎勝紀・木野	[]内英和	•渡部孝昭	召·塩川楓	・浅井直	道(一級	自動車勢	修備士)	-	-			
<del>3</del> 214	123	君塚真之佑												
実務網	圣験教員	<b>員授業</b> 該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	<b>T</b>			
授業	概要・	目的〕												
エンシ	ブン領 <sup>は</sup>	或の各装置につい	て、構造、	機能、整個	<b>備作業につ</b>	いて実習を	を通じて理	解度を高め	る。					
授業	の到達	を 目標〕												
·ジーt	ヹル・エ	ンジンの機能、構	造を理解	し、分解組	l付、測定的	作業より理	解度を高ぬ	<b>りる</b> 。						
·吸排	気装置	置(ターボ・チャー	ジャ)の機	能、構造を	を理解し、原	点検整備、	走行テス	より理解原	度を高める	•				
充電	装置0	D機能、構造、作	動を理解し	.、点検、 源	則定作業よ	り理解度を	を深める。							
点検	項目の	D内容、点検方法	を理解し、	実施でき	るようになる	00								
〔学習	評価の	D基準〕												
試験	点数0	D基準、レポート語	平価及授業	美の取り組み	みを総合し <sup>-</sup>	τ、Γ5・4	.3.2.	1]の5段	谐で表わす	t.				
レポ-	-トの評	平価:5:非常(	こ優れてい	る 4:優	<b>見れている</b>	3:普 道	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要があ			
試験	点数0	D評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点							
		60点未活	島の場合は	再試験を	行う。尚、耳	耳試験後σ	)評価は試	験規程に	よる。					
使用	教科書	書·教材等〕												
二級自	自動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備拡	辰興会連合 	会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	ad、電子t	ジュールシ	·			
					業計画	表					No.1			
実務経験	標準時限				授	業内容(	項目)							
0	4	実応 P 2 - 1		GD320	(ジーゼル)	孔用機) σ	分解組付	け及び測定	 定作業					
0	4	実応 P 2 – 2		始動装置	(車両)の樹	幾能・構造	及び電気	回路の測定	上作業					
0	4	実応 P 2 – 3		ターボチャ	ージャの機能	能・構造の	理解、走行	テストによ	るデータ測	定	·			
$\circ$	4	実応 P 2 – 4		サプライポ	ンプ(単体	部品)の	分解組み	立て、ジー	ゼルの構造	・機能の研	全認			
0	4	実応 P 2 – 5		充電装置	(車両)の樹	幾能・構造	及び電気	回路の測定	E作業					
0	4	実応 P 2 – 6		KD1 (I	ンジン単体	)の分解網	組み立て及	び測定作	業					
0	4	実応 P 2 – 7		点検整備	1①(受付	、点検作第	<b>美、整備説</b>	明)						
$\circ$	2	実応 P 2 – 8		STEP 1 t	からSTEP 7	′までの授美	業内容を終	合復習						

		実習 203						専門課程		作成月日	25/04/01		
教	科	自動車整備係	<b>科目</b>		応用シャシ	,	対象級	サービスエン 一級白動車	ジニア学科・ 整備学科・	開講期	前期		
		業						研究開発学		州神州	Hii		
教科	担当	河智是明・オ	大石尚輝・港	計直道	(一級自	動車整備	士)						
		前田優佑•5	<b>以松樹生・</b> 小	川 幸雄	T	1			ı	ı			
実務約	圣験教員	<b>夏授業</b> 該当	総時限	26	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	<u>f</u>		
〔授業	概要・	目的〕											
・シャシ	領域	の各装置につい	て、構造、機	幾能、整備	作業につい	て実習を追	通じて理解	度を高める	5.				
〔授業	の到達	を											
・基本	的な整	修備手順、点榜	対法を理解	し、実施で	きるように	なる。							
で 電気	装置0	D構造、機能、	作動を理解し	」、点検、》	則定作業。	り理解度を	を高める。						
・日産	4 AT	の機能、構造、	作動を理解	し、分解組	付、部品	を確認する	ことで理解	度を高める	5.				
〔学習	評価の	)基準〕											
・試験	点数の	)基準、レポー	>評価及授業	美の取り組み	みを総合し	て、「5・4	. 3 . 2 .	1]の5段	階で表わす	τ.			
・レポ-	-トの評	平価:5:非常	常に優れてい	る 4:優	<b>憂れている</b>	3:普 j	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある		
・試験	点数の	)評価:5:9	90 ~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点						
	60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
〔使用	教科書	書·教材等〕											
〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、電子モジュールシート													
				授	業計画	画 表					No.1		
実務経験	標準時限				技	受業内容(	項目)						
0	4	実応C1		導入(実	習授業の	進め方、注	意点等を	理解する)					
0	4	実応 С 2		シャシ基礎	楚整備①	(基本的な	作業所作	、及び機器	の使用を	理解し習得	引する)		
0	4	実応C3		12か月点	<b>i検①</b>								
				(12ヶ月	点検整備	項目の内容	容及び点検	) ) ) 前 ( E	常点検含	む) の理解	解と実践)		
0	4	実応 C 4		灯火&保	安装置(	灯火装置	の構造・機	能の理解	)				
0	4	実応C5		日産 4 A	T① (プ	ラネタリギヤ	の基本作	動及び各語	部の名称と	働きの理解	<del></del> 军)		
0	4	実応C6		日産 4 A	T ②								
				(各レン	ジの作動と	働き(1~	4速、1	速固定、2	速固定、	Rレンジ)	の理解)		
0	2	実応 C 7		STEP 1 t	からSTEP (	5までの授	業内容を終	総合復習					

-1-1	<b>-</b>	実習	₫ 203	<b>41</b> =	44.7	N U° -	_		専門課程	~" — ¬~~ ±1	作成月日	25/04/01	
教	科		車整備作 業	科目	総合	<b>シパワーユニ</b>	ニット	対象級	サービスエン: 一級自動車 研究開発学	整備学科・	開講期	後期	
*/+1/1	担当	駒崎朋	券紀・木里	野内英和	渡部孝明	召·塩川榧	·浅井直	道(一級					
<del>3</del> 3,14	123	君塚真	真之佑										
実務約	圣験教員	<b>員授業</b>	該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	Ti .	
〔授業	概要・	目的〕											
・エンシ	ジン領地	或の各数	表置につい	て、構造、	機能、整個	備作業につ	いて実習を	を通じて理り	解度を高ぬ	<b>うる</b> 。			
〔授業	の到達	目標〕											
で電・	安全の	)一般的	りな知識と	電気自動	車等の整備	備作業を理	理解し、実施	施できるよう	うになる。 -				
<b>・</b> 各シ	ステム	装置の	不具合にこ	Oいて総合	的な判断。	り故障原	因を探求す	することがで	きる。				
・点検	項目0	內容、	点検方法	た理解し、	実施でき	るようになる	5.						
〔学習	評価の	)基準〕											
・試験	点数0	)基準、	レポート評	平価及授業	の取り組み	みを総合し	て、「5・4	. 3 . 2 .	1]の5段	階で表わる	τ.		
・レポ-	-トの評	平価:!	5 : 非常(	こ優れてい	る 4:優	いている	3:普 j	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある	
・試験	試験点数の評価: 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
	60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
〔使用教科書·教材等〕													
二級国	]動車	整備士	(総合)	【日本自	助車整備抗	<sub>坛</sub> 興会連合	合会】、バワ	ノーボイント	資料、i-Pa	ad、電子₹	ジュールシ	<u>-</u> -	
					1177	<u>ж</u> =1							
					授	業計画		TE (1)				No.1	
実務経験					`* 7 /c		受業内容(		T 0 15-17/	. // Trb	===-		
0		実総F					進め方、注 		町の耿扱し	)寺を円唯	認9る)		
0	4	実総F					E活線作業		++-1122+770-12-	===================================			
0		実総F					ジン不調の頭を	-					
0		実総F					装置に関い 装置に関い						
0		実総F					表			開武明で夫	€心心)		
0		実総F					、(東TF#  なシステム			加を宝体	`		
	2	実総F					なシステム! 7 までの授			で天心	,		
		大心ト	<u> </u>		JILF 1 /	I DO I EF	- みしいは	ær ነ <u>ርተ</u>	10日				

		₩ 2000						+		<i>"</i> » – –	
¥h	科	実習 203	科目		<b>巛</b> 会こよこ		++ <i>6</i> 7.6∏	専門課程サービスエン	ジニア学科・	作成月日	25/04/01
我	<del>111</del>	自動車整備作 業	行日		総合シャシ		対象級	一級自動車	整備学科・	開講期	後期
		 河智是明・大石	 5尚輝・淳	 計直道	(一級自	動車整備	士)	研究開発学	*科 2年		
教科	担当	前田優佑·成村	公樹生・小	川幸雄							
実務網	圣験教員	<b>員授業</b> 該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	<u> </u>
〔授業	概要・	目的〕									
・シャミ	領域の	の各装置について	、構造、機	能、整備	作業につい	て実習を追	通じて理解	度を高める	· .		
〔授業	の到達	目標〕									
・24カ	月点村	めの点検記録簿を	を確認し、	点検作業	ができるよう	になる。					
・検査	機器0	)使い方、調整方	法を理解	」、実施で	きるようにた	は。					
·Hon	da Ca	ars(販売店)で	使用する	e-Dealer	& PIT管理	里の操作が	べできるよう	になる。			
・各シ	ステム	装置の不具合にご	ついて総合	的な判断。	より故障原	因を探求す	けることがで	きる。			
〔学習	評価の	)基準〕									
・試験	点数の	)基準、レポート評	平価及授業	美の取り組み	みを総合し	τ、Γ5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	τ.	
・レポ-	-トの評	平価:5:非常(	こ優れてい	る 4:優	憂れている	3:普 道	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある
・試験	点数の	)評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点				
		60点未清	島の場合は	再試験を	行う。尚、拝	再試験後 <i>0</i>	)評価は試	験規程に	よる。		
〔使用	教科	書·教材等〕									
二級国	自動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備技	<b>振興会連合</b>	会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	ad、電子も	ジュールシ	
				授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限				授	業内容(	項目)				
0	4	実総C1		24か月点	検①(24	トケ月点検(	作業と指定	整備記録	りでは	と記入方法	法の習得)
0	4	実総C2		24か月点	検②(24	トケ月点検付	作業と指定	整備記録	り、	と記入方法	法の習得)
0	4	実総C3		検査ライン	ン(検査機	器の使用	方法と調整	修作業の習	得)		
0	4	実総C4		故障探求	(HD	S及びサ-	-キットテス	タを用いての	の故障診断	断の実践に	よる習得)
0	4	実総C5		e-Deale	r & PIT管	理②(e	– D e a	ler&	PIT管	言理の復習	!)
0	4	実総C6		接客応対	(接客対	応(実践	的ロールブ	レイ)の実	践)		
0	4	実総C7		故障探求	(HD	S及びサ-	-キットテス	タを用いては	の故障診断	断の実践に	よる習得)
0	2	 実総C8		STEP 1	からSTEP 7	7までの問題	題を総合復	習			

±1/-	IN.	実習 203	£N 🗁	まわ	<i>"佳儿</i> "**	-C.	****	専門課程サービスエン	ジーア学科・	作成月日	25/04/01
敎	科	自動車整備作 業	科目	業	揺備作業シャ	アン	対象級		整備学科・	開講期	後期
本ケエハ	+□ <b>1</b> /4	河智是明·大石	□尚輝・き	井直道	(一級自	動車整備	士)				
教科	炟크	前田優佑·成村	公樹生・기	川 幸雄							
実務約	圣験教員	見授業 該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	ノポート評価	Īi .
〔授業	概要・	目的〕									
・シャシ	が領域	の各装置について	、構造、機	能、整備	作業につい	て実習をi	通じて理解	度を高める	)		
〔授業	の到達	[目標]									
・24か	月点村	食の点検記録簿を	を確認し、	点検作業	ができるよう	になる。					
・トラン	ノスミッシ	ション、エンジンの基	基本点検	(オイル交	換及び付除	値作業、スト	ール回転	の点検)を	を理解し実	施できる。	
·Hon	da Ca	ars(販売店)で	使用する	e-Dealer	· & PIT管	埋の操作か	できるよう	になる。			
·各シ	ステム	装置の不具合に2	かて総合	的な判断。	より故障原	因を探求す	けることがで	きる。			
〔学習	評価の	)基準〕									
・試験	点数0	)基準、レポート部	<b>P</b> 価及授業	美の取り組む	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わる	t.	
・レポ-	-トの評	平価:5:非常(	こ優れてい	る 4:優	憂れている	3:普 ji	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	必要がある
・試験	点数0	)評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点				
		60点未満	島の場合は	再試験を	行う。尚、蔣	再試験後の	評価は試	験規程に	よる。		
〔使用	教科書	書・教材等〕									
二級目	自動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備	振興会連合	合会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pa	ad、電子Ŧ	ジュールシ	
				授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限				授	受業内容(	項目)				
0	4	実整C1		24か月点	禄③(24	4ヶ月点検	作業と指定	整備記録	簿の理解	と記入方法	去の習得)
0	4	実整 С 2		トランスミ	ッション・エン	グジンの基本	点検(ス	トール回転	の点検、	回転速度	テスト)
				作業習熟	度チェック	(ブレーキ・	オーバーオ	ール、外部	『診断機の	操作)	
0	4	実整C3		e-Deale	r & PIT管	理③(e	– D e a	ler &	PIT電	管理の復習	<u>}</u> )
0	4	実整C4		故障探求	₹②(灯火	装置部品	の脱着・交	換の習得)	)		
0	4	実整C5		エンジン朋	说着①(車	両よりエン	ジンを取り	外す 1日	目)		
0	4	実整C6		エンジン朋	说着②(車	両へエンジ	ンを取り付	ける 2日	目)		
0	4	実整C7		故障探求	く(各システ	テム装置の	部品脱着	・交換の習	得)		
0	2	実整C8		STEP 17	からSTEPで	7 までの問題	題を総合復	習			

		実習	203						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科		整備作 業	科目	5	実践力養反	炗	対象級	サービスエン: 年	ジニア学科2	開講期	通期
教科	田出	駒崎勝	紀·木野	内英和·渡	部孝昭•	塩川楓・河	「智是明・フ	大石尚輝・	浅井直道	(一級自	動車整備	±)
7217	<i>1</i> ==1	前田優	佑·成松	樹生・小川	幸雄・君	塚真之佑						
実務網	圣験教員	<b>員授業</b>	非該当	総時限	44	授業方法	実習·実技	評価方法				
〔授業	概要・	目的〕										
・必要	な知識	まや技術	を実践的	]な授業及	び実現場	で経験する	ことで、知言	識や技術を	習得し実	現場で実置	浅できるよう	iになる。
〔授業	の到達	目標〕										
·企業	実習	(実社会	会での業務	络体験を通	し、就業の	目的意識	や身につけ	る必要が	ある知識・技	支術を明確	証でする。)	
・4輪	、2 輪	の実践	整備作業	美及び整備	説明を実施	浅しできる。	ようになる					
〔学習	評価の	)基準〕										
(/ <b>=</b> III	<b>セ</b> ケエハ ヨ	<b>□ ±/-</b> ++	<del>**</del>									
		・教材		77 / IL K	※ ハコト	 編)、パワ	+ ハト	<b>次</b> 业N				
机人!	)-LX	.スタップ <sup>(</sup>	ルを本子	白 (八一)	が柵、フノト	か用ノ 、ハ ノ	ーハイント	具件				
						 業 計 画	 ii 表					No.1
実務経験	標準時限						<b>美内容(</b>	項目)				
	40	インター	ンシップ		企業実習	※実習に	内容は受力	れ企業さ	まの判断			
	4	4輪実	践		点検整備	及び基本に	的な部品を	た換作業 <i>の</i>	実施			
					点検整備	の作業説	明					

		<b>—</b>	. 1								
<b>*</b> h	T.N	実習 203	710	====================================	⊢₩ II°□ ·	t	±145.611	専門課程サービスエンジ	**ニマ学科。	作成月日	25/04/01
教	枓	自動車整備	作 <b>科目</b>	登佣1	F業パワー:	ユニツト	対象級	一級自動車		開講期	後期
		業	· == ++10	\	T 151115	· \4.1.±	· / UT	研究開発学		<u> </u>	
教科	担当		木野内英和	・渡部孝崎	召·塩川極	・浅井直	道(一級	目動車監	整備士)		
		君塚真之佑	<u> </u>	•	•	-				1	
実務網	圣験教員	授業 該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	i
〔授業	概要・	目的〕									
・エンシ	ジン領域	域の各装置に	ついて、構造、	機能、整個	備作業につ	いて実習を	を通じて理解	解度を高め	る。		
〔授業	の到達	目標〕									
・電気	安全の	一般的な知	識と電気自動	車等の整備	備作業を理	関解し、実施	もできるよう	うになる。			
·各シ	ステム	表置の不具合	について総合	的な判断。	り故障原	因を探求す	けることがで	きる。			
 ·点検	項目の	 )内容、点検 <sup>2</sup>	 方法を理解し	、実施でき	るようになる	, )。					
〔学習	評価の	)基準〕									
 ·試験	点数0	シタン シェン・ション シェン・ション シェン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		美の取り組み		τ、Γ 5 · 4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	τ.	
・レポ-		 呼価:5:非	常に優れてい	る 4:優		3:普 湞	<u> </u>	やや劣る	 1:劣る	 (再提出の	 必要がある]
・試験	点数0	 )評価:5:	90 ~100点	i 4:75	~ 89点	3:60	 ~ 74点				
	-		未満の場合は					験規程に。	よる。		
					· -				-		
「使用	教科書										
	371	37.5.0.									
					 業 計 画	 ii					No.1
実務経験	標準時限			1.0		·1 12 	項日)				140.1
		 実整 P 1		<b></b>				故障探求	敕/借111	日を宇施)	
0		<u> </u>								ジン部品の	说着作業)
0		<u> </u>						成部品の別			
0		実整 P 4						ジューロック!    業及び測			
0		<u> </u>						XX 0 1/13.	ZZ/////		
0		実整P6				)付け作業					
0		<u>実整</u> P7				、点検作第					
0	2	 実整 P 8		STEP 1 t	)らSTEP 7	7までの授	業内容を終				

										1	
		実習 203		_				専門課程	>"	作成月日	25/04/01
教	科	自動車整備( 業	<b>  科目</b>	ŧ	ビリティ技行	桢	対象級	サービスエン: 一級自動車研究開発学	整備学科・	開講期	前期
#614	MI 1/2	駒崎勝紀・オ	、野内英和	·渡部孝明	召·塩川桐	·河智是	明·大石i			一級自動	車整備士)
教科	担当	前田優佑・瓦	<b>以松樹生・</b> 小	川幸雄	・君塚真	之佑			Г		
実務網	Z験教員	授業 該当	総時限	16	授業方法	実習·実技	評価方法			レポート評価	<u> </u>
〔授業	概要・	目的〕									
·Hon	daの量	最新技術、運転	云支援システ.	ムなどを点札	<b>倹整備、作</b>	動確認な	どを実施す	ることで理	解度を深ぬ	かる	
〔授業	の到達	目標〕									
·Hon	da先ì	進安全技術を理	里解し、どの。	ように取り組	しんでいくか	を考え発表	できるよう	になる。			
·Hon	da SE	NSINGの機能	能、構造、作	動を理解し	、点検作	業、調整作	業を実施	することでヨ	里解度を高	ある。	
・ハイフ	ブリッド国	車、電気自動車	車の構造、機	能、作動を	を理解し、原	点検作業、	整備作業	を実施する	ることで理解	解度を高め	る。
·Hon	daの耳	双組みについて:	学び、実践、	作業を通し	て理解度	を高める。					
〔学習	評価の	)基準〕									
・試験	点数の	基準、レポー	>評価及授第	美の取り組み	みを総合し	て、「5・4	.3.2.	1]の5段	階で表わす	τ.	
・レポー	-トの影	呼価:5:非常	常に優れてい	る 4:優	憂れている	3:普 泊	通 2:	やや劣る	1:劣る	(再提出の	)必要がある
〔使用	教科書	書·教材等〕									
				授	業計画	画 表					No.1
実務経験	標準時限			,	授	受業内容(	項目)				
0	4	実M技術C	L	先進安全	技術 思	考授業					
				HONDA	SENSIN	Gの取扱い	ı				
				CMBS、/	<sub>(</sub> ーキング <i>)</i>	パイロットのネ	幾能及び作	<b>宇動</b>			
$\circ$	4	実M技術C2	2	レーダーエ	イミング						
				カメラエイ	ミング						
				4輪アライ	イメントテス	ター					
				電動サース	ボブレーキ						
0	4	実M技術P	L	自動車(	(EV、ガソリ	い車、ハイ	ブリッド) の	機能・構造	告		
				自動車(	(EV、ガソリ	シ車、ハイ	ブリッド) σ	操作・点	<b>検整備</b>		
0	4	実M技術P2	2	TSSの	機能、操作	作方法					
				TSSを	使用した接	と客(□−〕	プレ)				

		実習 204						専門課程		作成月日	25/04/01
教	科	自動車検査作 業	科目	E	自動車検査	E E	対象級	サービスエンジニア語 一級自動車整備研究開発学科 2	学科・	開講期	前期
4rL T U	1 <b>5</b> 11	河智是明·大石	尚輝・浅井	‡直道(-	-級自動車	整備士)		<u></u>			
教科	担当	前田優佑·成松	樹生・小川	幸雄							
実務約	圣験教員	員授業 非該当	総時限	30	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 期末	ミ試験.	/ポート評価	<u> </u>
〔授業	概要・	目的〕									
・シャミ	が領域	の各装置について	、構造、機	幾能、整備	作業につい	て実習を追	<b>通じて理解</b>	度を高める。			
•各作	業にお	ける中間検査、気	完成検査の	の手順を理	解する。						
〔授業	の到達	[目標]									
・12カ	月点村	<b>乗の点検記録簿</b> を	を確認し、	点検作業	ができるよう	になる。					
・シャシ	領域	(エアコン装置、)	パワーステス	アリング、大	型ブレーキ	等)の構造	告、機能、	点検方法を理解	解し、	実施できる	ようになる。
·Hon	da Ca	ars(販売店)で	使用する	e-Dealer	& PIT管	埋の操作が	べきるよう	になる。			
·各シ	ステム	装置の不具合にて	ついて総合	的な判断。	より故障原	因を探求す	「ることがで	きる。			
〔学習	評価の	)基準〕									
・試験	点数0	D基準、レポート評	平価及授業	美の取り組み	みを総合し	τ、Γ5・4	.3.2.	1 」の 5 段階で	表わす	0	
・レポ-	-トの計	平価:5:非常(	こ優れてい	る 4:優	<b>見れている</b>	3:普 湞	五 2:	やや劣る 1:	劣る	(再提出の	必要がある
・試験	点数0	D評価:5:90	~100点	4:75	~ 89点	3:60	~ 74点				
		60点未満	島の場合は	再試験を	行う。尚、蔣	再試験後σ	評価は試	<b>、験規程による。</b>			
〔使用	教科	書・教材等〕									
二級目	自動車	整備士(総合)	【日本自	動車整備技	振興会連合	合会】、パワ	ーポイント	資料、i-Pad、電	電子モ	ジュールシ	
				授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限				授	受業内容(	項目)				
	4	実検査1		シャシ基礎	楚整備②	(作業所作	、及び機器	器及び専用工具	具の使	用を理解し	2習得する
	4	実検査2		エアコン①	(構造・機	幾能の理解	(冷凍サ	イクルの理解)	)		
	4	実検査3		12か月点	(検②						
				(12ヶ月	点検整備	項目の内容	学及び点核	食要領 (日常点	粮含	む)の理解	解と実践)
	4	実検査4		パワー・ス	テアリング①	(EPS	の構造の	理解と脱着作業	美に伴	う調整項E	目の実践と <sup>5</sup>
	4	実検査5		パワー・ス	テアリング②	(ロータリ	バルブ式キ	ヤBOXの構造	造、名	称及び作	動の理解)
				大型ブレ-	ーキ(フルニ	ロア式・エア	油圧式ブ	レーキの構造・各		名称及び	作動の理解
	4	実検査6		シャシ基礎	楚整備③	(12ヶ月点	検整備項	目の内容及び見	点検要	領の理解	と実践)
		l <del>.</del> .								_	

STEP 1 からSTEP 7 までの問題を総合復習

e-Dealer & PIT管理(e – Dealer & PIT管理システムの概要の理角

実検査7

実検査8

2

		一般 303						専門課程		作成月日	25/04/01
教和	科	安全運転	科目	5	安全運転等	Ž	対象級	サービスエン一級自動車研究開発学	整備学科・	開講期	通期
**-		駒崎勝紀・木	野内英和	•渡部孝昭	召·塩川桐	·河智是	明·大石i			一級自動	車整備士
教科技		前田優佑·成	松樹生・小	川 幸雄	・君塚真だ	之佑					
実務経	験教員	損授業 非該当	総時限	10	授業方法	実習·実技	評価方法				評価無し
〔授業権	概要・	目的〕									
・自動車	車業界	マの一員であるこ	とを自覚し、	交通社会	会において多	安全運転の	実践と普	及(アドバ	イス)する	ことが出来	るようになる
(51	イディン	·グアドバイザー (	(二輪)、t	2ーフティコ·	ーディネータ	7- (四輪)	)の資格を	を取得する	)		
〔授業の	の到達	目標〕									
・日常に	運転時	持の危険予知トレ	ノーニングを	通して、安	全運転の	実践とアドノ	「イスが出き	来るようにな	ぷる。		
・安全	運転の	)思想(人間尊	重)から、	整備時の多	安全に対す	る作業の重	重要性を理	解する。			
·教育	プログラ	5ムを通じて、規?	津の大切さ	や他人との	協調性を	養う。					
〔学習詞	評価の	)基準〕									
〔使用	教科書	書・教材等〕									
・安全	運転孝	女育テキスト ・交	通教育セ	ンターレイン	ボー埼玉	教習車両	(二輪、匹	]輪)			
·i-Pad	l, KY	Tレポート用紙									
				授	業計画	表					No.1
実務経験	標準時限				抒	受業内容(	項目)				
		■ライディングア	ドバイザー								
	2	二輪コース(1	日目)	安全な乗	り方のアド	バイス方法	を習熟				
				救急法:	気道確保	、止血、Al	EDの使用	方法実践			
	2			車両の取	り回し方法	実践					
				二人乗り	アドバイスプ	方法の習熟	!				
	4	二輪コース(2	日目)	慣熟走行	Ī						
		-		ブレーキン	·グ:目標	制動、パイ[	コンスラロー	・ム、タンデ	ム走行、A	BS/CBS体	<b>本</b> 験
				反応制動	]:生理的	限界の確認	刃心				
				コーナリング	グ:オフセ	ットスラロー	<u>ل</u>				
		■セーフティコー	ディネーター								
	4	4輪コース(1	日目)	静的実技	:日常点	検・運転姿	※勢・乗降	車·視死角	3		
				ブレーキン	グ:急制	動·反応制	動				
	4	4輪コース(2	日目)	車両感覚	: 車庫入	れ・縦列駐	車				
				ロールプレ	イ:店頭を	安全運転ア	アドバイス要	領			
		■共有									
	1	危険予知トレー	ニング①	交通事故	、交通違加	豆をしないた	きめに自分	達がどうす	べきかを考	える	
	1	危険予知トレー	ニング②	交通事故	、交通違加	豆をしないた	こめに自分	達がどうす	 べきかを考	える	

		ć	л. 222						±10		<b>#</b> ->	0= (0 1 (0 1
老力	<b>≾</b> N	——- 方	投 322	19 E		地安宝致		+-4-4T	専門課程サービスエン	<b>ジェフ学科.</b>	作成月日	25/04/01
教	科	接?	客実務	科目		接客実務		対象級		整備学科・	開講期	通期
*****	±= \1/	駒崎	 勝紀・木里	 引内英和·	渡部孝明	召•塩川榧	 I·河智是	 明·大石i			 一級自動	車整備士)
教科	担当	前田伯	優佑•成村	公樹生・小	川幸雄	•君塚真》	之佑				•	
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	10	授業方法	実習·実技	評価方法				
〔授業	概要・	目的〕										
•Hon	da Ca	arsのサ	ービス部門	の仕事を	理解し、サ	ービス活動	とフロント第	美務の知識	また習得する	5.		
〔授業	の到達	目標)										
・サー	ごス部ド	門の業績	務内容が現	里解できる。	)							
・初歩	のフロン	ント業務	8に必要な	接遇応対	ができる。	(ロープレ	実施)					
·基本	的な受	そ を付~a	お引きお渡	し業務がで	<u>:</u> きる。(□	ープレ実施	<u>t</u> )					
〔学習	評価の	)基準〕	]									
〔使用	教科書	 <b>小数</b> 材	 វ等〕									
HAST	SE3	級 ソフ	ト編テキス	ー ト、パワーフ	ポイント資料	斗、i-Pad、	教材補助	プリント(	ロープレ資	料)		
						業計画						No.1
実務経験	標準時限					授	受業内容(	項目)				
	2	■接額	客実務 1・	2	チャプター 1	接遇の基	本					
	2	■接額		4	チャプター 2	! サービスの	基本、チャン	プター4 整	備業務の基	本、チャプタ	7-5 周辺	知識
	2	■接額	客実務 5・	6	チャプター 3	プロント業	務の基本					
	4	■接額	客実務 7・	8 • 9 • 1	ロープレ実施	<del></del>						
					・あいさつ詞	川練						
					・受付の説	说明(□一)	プレ)					
					・電話応答	≶(ロープI	<b>ノ</b> )					
					・お引渡し	(ロープレ	·)					

教科       科目       実践自動車整備       対象級       サービスエンジニア学科・一級自動車整備学科・研究開発学科 2年         教科担当       駒崎勝紀・木野内英和・渡部孝昭・塩川楓・河智是明・大石尚輝・浅井直道(一級自動車前田優佑・成松樹生・小川 幸雄・君塚真之佑         実務経験教員授業       非該当       総時限       50       授業方法       実習・実技       評価方法	通期	
対象科担当   対象経験教員授業   非該当   総時限   50   授業方法   実習・実技   評価方法   評価方法   評価方法   に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に		
教科担当       前田優佑・成松樹生・小川 幸雄・君塚真之佑         実務経験教員授業       非該当       総時限       50       授業方法       実習・実技       評価方法	整備士) 	
前田優佑・成松樹生・小川 幸雄・君塚真之佑         実務経験教員授業 非該当 総時限 50 授業方法 実習・実技 評価方法		
	評価無し	
〔授業概要・目的〕		
・授業及び教科書内容の理解を深めることで、国家二級自動車整備士(総合)資格に合格するための基礎知識な	 を身につけ	
・教科書の記載内容を部品や車両などで確認し、構造・作動の理解度を向上させる。		
〔使用教科書・教材等〕		
〔使用教科書・教材等〕 二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題	夏、関連す	
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題	風、関連す	
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業計画表	夏、関連す No.1	
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題		
二級自動車整備士(総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業計画表		
二級自動車整備士 (総合) 【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題授業計画表 授業内容(項目)		
二級自動車整備士 (総合) 【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業計画表 授業内容(項目) 2 応用パワーユニット2 (学科)教科書の理解度確認、解説を実施する		
<td <="" color="black" rowspan="2" td=""><td></td></td>	<td></td>	
二級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業計画表		
二級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業 計 画 表		
二級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業 計 画 表 授業内容 (項目)  2 応用パワーユニット 2 (学科)教科書の理解度確認、解説を実施する 7 自動車検査 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する 2 自動車検査 学科見直し 自動車検査の学習内容を復習する 1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する 2 モビリティ技術 (学科) Hondaの新技術について学習する		
	No.1	
一級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業 計 画 表 授業内容(項目)  2 応用パワーユニット 2 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  7 自動車検査 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  2 自動車検査 学科見直し 自動車検査の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  2 モビリティ技術 (学科) Hondaの新技術について学習する  4 総合パワーユニット (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  4 総合シャシ (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する	No.1	
一級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業 計 画 表 授業内容(項目)  2 応用パワーユニット 2 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  7 自動車検査 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  2 自動車検査 学科見直し 自動車検査の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  2 モビリティ技術 (学科) Hondaの新技術について学習する  4 総合パワーユニット (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  4 総合シャシ (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する	No.1	
一級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業 計 画 表 授業内容(項目)  2 応用パワーユニット 2 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  7 自動車検査 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  2 自動車検査 学科見直し 自動車検査の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  2 モビリティ技術 (学科) Hondaの新技術について学習する  4 総合パワーユニット (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  4 総合シャシ (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する	No.1	
	No.1	
一級自動車整備士 (総合)【日本自動車整備振興会連合会】、パワーポイント資料、i-Pad、登録試験対策問題 授業 計 画 表 授業内容(項目)  2 応用パワーユニット 2 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  7 自動車検査 (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  2 自動車検査 学科見直し 自動車検査の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  1 自動車法規 自動車法規の学習内容を復習する  2 モビリティ技術 (学科) Hondaの新技術について学習する  4 総合パワーユニット (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する  4 総合シャシ (学科) 教科書の理解度確認、解説を実施する	No.1	